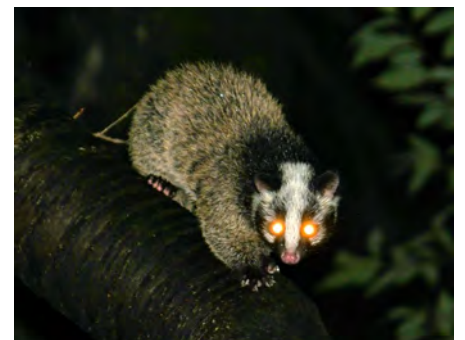


こども「いきいき」生き物調査 2022 結果報告書



令和4年12月

横浜市環境科学研究所

目次

1	目的	1
2	調査方法	1
3	調査対象とした生き物	2
4	調査結果と考察	2
	(1) 回答状況と種別調査結果	2
	(2) 季節別確認者数の比較について	14
	(3) 哺乳類3種の比較	15
5	おわりに	17

参考文献

参考資料

1 目的

横浜市では、横浜市環境管理計画（生物多様性横浜行動計画を含む）※1において、次世代を担う子どもたちに対するプロモーションの重要性を挙げている。また、生物多様性に関する取組を進めるにあたって、科学的データは欠かせないものであるが、市内全域を対象とした調査は近年実施されていなかった。

そこで平成 25 年度に、地域の自然や生き物への関心を高めてもらうとともに、生物多様性保全に資する基礎データを取得することを目的として、小学生による市内全域を対象とした生き物調査を開始した。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大を受けて調査実施を見合わせたが、令和 3 年度に再開し、本年令和 4 年度は、調査開始 10 年目、9 度目にあたる調査を実施したので結果を報告する。

2 調査方法

市立小学校（義務教育学校 3 校を含む。以下同じ。）340 校の 5 年生 29,003 人（令和 4 年 5 月 1 日現在）に調査票を配布し、「家や学校の近く」（＝学区内）で見ついたり、鳴き声を聞いたりした生き物について、季節ごとに○をつけてもらうものとした（図 1）。調査方法や対象種の選定にあたっては、環境教育や生物観察を実践している教職員や教育委員会事務局指導主事からご意見をいただいた。

調査票は、夏休み前の令和 4（2022）年 6 月下旬に教育委員会事務局を通じて各学校へ配布し、夏休み明けの 9 月に回収した。調査票回答期間は 2 か月強であるが、調査の対象期間は令和 3（2021）年 9 月 1 日～令和 4（2022）年 8 月 31 日の 1 年間とした。

調査票配布の際には、他の学年であっても希望があれば調査票を追加配布することを伝えた。

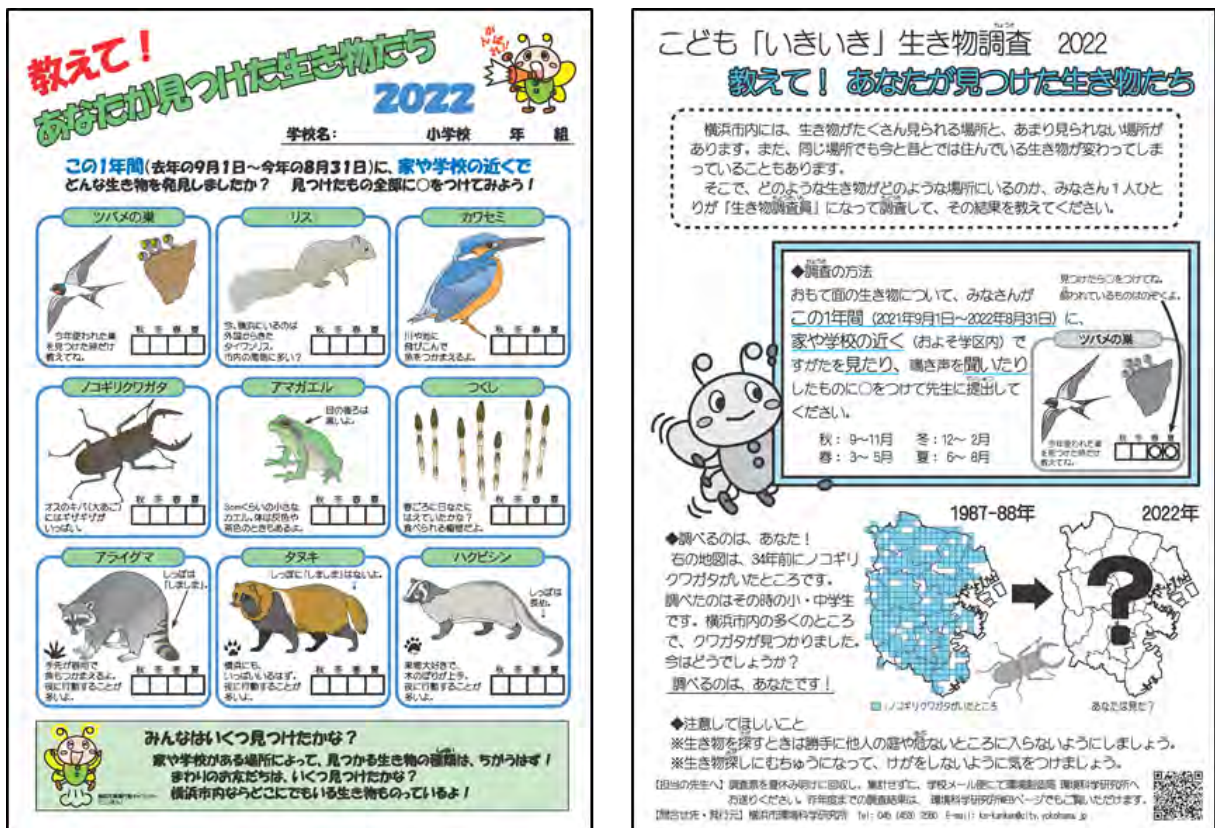


図 1 調査票

※1 生物多様性横浜行動計画（ヨコハマ b プラン）は、平成 23 年 4 月策定。平成 30 年 11 月改定に伴い横浜市環境管理計画に組み込んだ。

3 調査対象とした生き物

今回、調査対象とした生き物は、次の9種類である。同定が比較的容易であるもので、市内の自然環境を指標すると思われるもの、分布に偏りがあると思われるもの、分布域が拡大あるいは縮小傾向にあると思われるものなどを選定した。

ツバメの巣	リス	カワセミ
ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし
アライグマ	タヌキ	ハクビシン

4 調査結果と考察

(1) 回答状況と種別調査結果

小学校 340 校のうち、159 校、10,552 人から回答を得た。小学 5 年生による回答は 159 校、10,507 人で、回答率は 47% (159 校/340 校^{※2}) 及び 36% (10,507 人/29,003 人) であった。そのほか、4 年生 (1 校 : 45 人) から回答をいただき、5 年生とともに解析に用いた (図 2、表 1)。

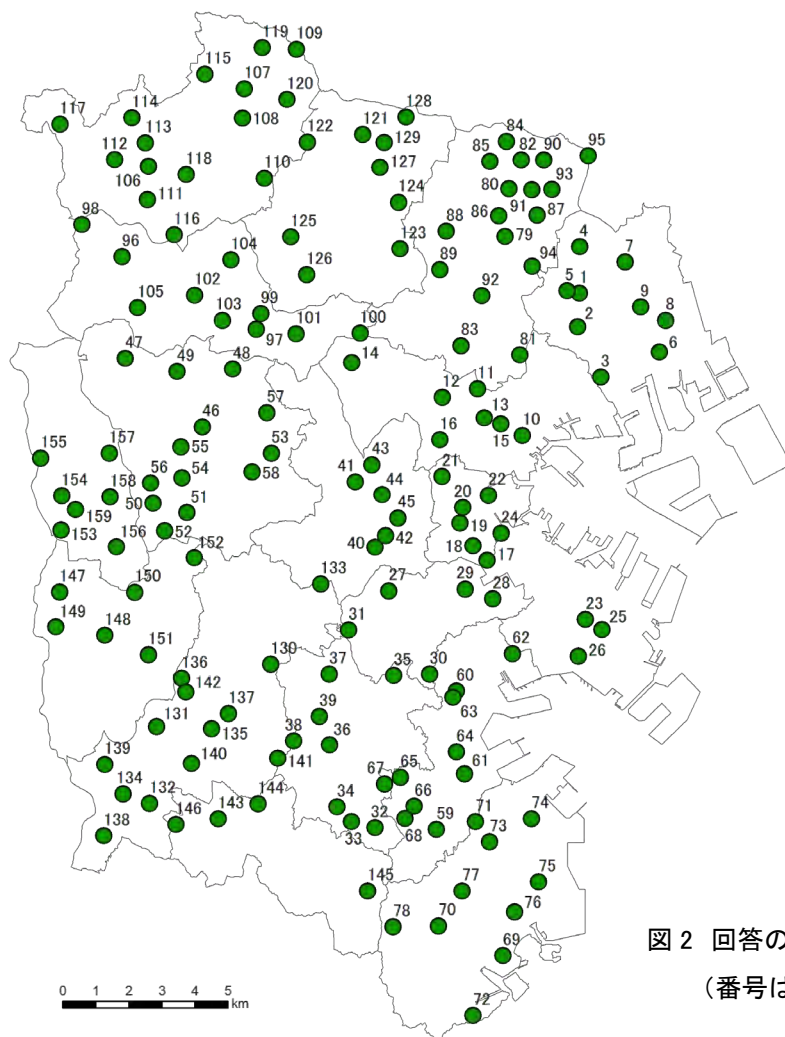


図 2 回答のあった小学校位置
(番号は表 1 に対応)

※2 小学校 340 校のうち、2 校は 5 年生が在学していないが分母に含めた。

表1 調査票回答状況

No.	区名	小学校名	回答数	No.	区名	小学校名	回答数	No.	区名	小学校名	回答数
1	鶴見	旭	32	59	磯子	さわの里	11	106	青葉	青葉台	97
2		上寺尾	91	60		山王台	48	107		あざみ野第一	31
3		岸谷	34	61		杉田	77	108		あざみ野第二	58
4		駒岡	27	62		根岸	51	109		美しが丘東	70
5		獅子ヶ谷	84	63		浜	87	110		荏田西	106
6		下野谷	59	64		屏風浦	86	111		榎が丘	77
7		末吉	85	65		洋光台第一	53	112		恩田	58
8		鶴見	97	66		洋光台第二	75	113		鴨志田第一	38
9		豊岡	86	67		洋光台第三	48	114		鴨志田緑	58
10		神奈川	神奈川	38		68	洋光台第四	43		115	嶮山
11	神橋		84	69	金沢	69	116	さつきが丘	7		
12	神大寺		104	70	釜利谷	46	117	奈良	81		
13	斎藤分		25	71	小田	87	118	もえぎ野	75		
14	菅田の丘		57	72	瀬ヶ崎	59	119	元石川	25		
15	二谷		38	73	富岡	88	120	山内	122		
16	三ツ沢		117	74	並木第一	60	121	牛久保	79		
17	西		東	39	75	並木第四	38	122	荏田	32	
18			一本松	43	76	西柴	75	123	折本	96	
19			西前	41	77	能見台南	58	124	勝田	101	
20		平沼	91	78	西金沢義務教育学校	76	125	川和東	136		
21		宮谷	5	79	大菅根	103	126	都田西	152		
22		みなとみらい本町	35	80	北綱島	7	127	中川	18		
23	中	大鳥	70	81	港北	113	128	東山田	90		
24		本町	68	82	駒林	71	129	南山田	65		
25		本牧	64	83	篠原西	93	130	柏尾	80		
26		間門	55	84	下田	85	131	汲沢	82		
27		永田	86	85	高田東	59	132	小雀	6		
28		中村	48	86	綱島	77	133	境木	76		
29	南	日枝	89	87	綱島東	108	134	大正	61		
30		藤の木	32	88	新田	90	135	戸塚	124		
31		六つ川西	51	89	新羽	62	136	鳥が丘	76		
32		港南台第一	91	90	日吉台	96	137	東戸塚	113		
33		港南台第二	35	91	日吉南	138	138	東俣野	57		
34		小坪	38	92	大豆戸	82	139	横浜深谷台	84		
35	港南	桜岡	73	93	箕輪	23	140	南戸塚	60		
36		下野庭	75	94	師岡	196	141	南舞岡	32		
37		芹が谷南	45	95	矢上	80	142	矢部	27		
38		日限山	3	96	いぶき野	124	143	飯島	79		
39		丸山台	58	97	上山	63	144	小菅ヶ谷	1		
40		岩崎	35	98	長津田第二	89	145	庄戸	2		
41	保土ヶ谷	坂本	90	99	中山	84	146	千秀	41		
42		桜台	71	100	東本郷	67	147	飯田北いちよう	28		
43		常盤台	56	101	緑	1	148	和泉	41		
44		星川	59	102	三保	137	149	上飯田	75		
45		保土ヶ谷	21	103	森の台	102	150	新橋	104		
46		今宿南	52	104	山下	66	151	東中田	69		
47	旭	上川井	18	105	霧が丘義務教育学校	1	152	緑園義務教育学校	127		
48		上白根	48	153	瀬谷さくら	51	154	瀬谷第二	76		
49		川井	53	155	大門	92	156	原	87		
50		希望ヶ丘	73	157	二つ橋	62	158	三ツ境	78		
51		さがが丘	90	159	南瀬谷	28	合計	18区	159校	10,552人	
52		善部	72								
53		鶴ヶ峯	20								
54		中尾	50								
55		中沢	82								
56		東希望が丘	83								
57		不動丸	86								
58		本宿	94								

学校ごとに、対象の生き物を見たり鳴き声を聞いたりした割合（＝確認率）を集計し、市内全域や区ごとに数値比較や作図による可視化を行った。可視化にあたっては、学校ごとの確認率の高低を色の濃淡で示すこととし、GIS ソフト（ArcGIS^{※3}）を用いたKriging 法により、空間補間を行った。回答は季節ごとに○をつけるものとしたが、集計は季節の区別なく、いずれかの季節に○があれば、その生き物を確認したものとみなした。

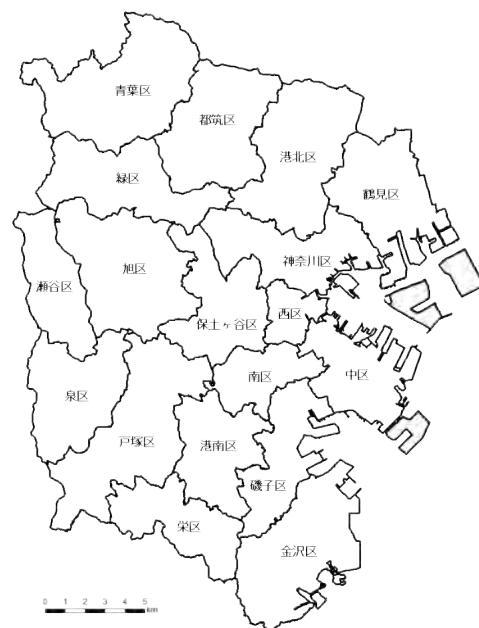
市内全域や区ごとの数値比較には、159 校、10,552 人のデータを使用し、学校ごとの数値比較や作図には、回答数が10人に満たなかった9校を除いた150校、10,519人のデータを使用した。

※3 ESRI 社製。2013 年は ver.9.1 を、2014 年以降は ver.10.2 を使用。

表 2 に区別確認率の違いを、次頁以降に種別の結果と考察を示す。

なお、「確認率」は、単にその生き物の生息密度を表すものではなく、観察場所へのアクセスのしやすさ、課外授業や環境教育への取組状況などによる生き物への関心度などによって変化するものである。

また、これまで 10 年間 9 回の調査で対象とした生き物のいくつかについては、1980～90 年代に 3 回^{※4}、小・中学生、高校生を対象としたアンケート（聞き取り）による分布調査が行われている（本年はノコギリクワガタ、アマガエル、タヌキが該当）。当時の調査は市内を約 1km 四方のメッシュで区切り、メッシュごとに対象とする生き物が確認できたかできなかったかを示すもので、今回の結果とは表示方法が異なるが、当時の状況を知る貴重な資料として比較を行った。これまで調査対象とした生き物については、巻末の資料 13 に示した。



【参考】横浜市 18 区の配置

2022 年調査結果の特徴として、いくつかの種で、市全域の確認率が 2019 年度以前に比べ大きく減少したことが挙げられる。新型コロナウイルス感染拡大を受けた行動自粛が生き物とのふれあいの機会減少につながっている可能性が考えられる（後述 p.9 も参照のこと。）。

表 2 区別確認率の違い

区名	回答数	ツバメの巣	リス	カワセミ	ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし	アライグマ	タヌキ	ハクビシン
鶴見	595	69%	22%	16%	37%	36%	46%	6%	16%	9%
神奈川	463	64%	29%	12%	41%	34%	50%	8%	20%	12%
西	254	51%	45%	13%	28%	28%	33%	12%	19%	13%
中	257	73%	39%	16%	40%	35%	45%	10%	18%	11%
南	306	73%	69%	19%	38%	32%	47%	16%	26%	15%
港南	418	68%	77%	25%	37%	35%	55%	9%	22%	13%
保土ヶ谷	332	72%	72%	19%	45%	30%	52%	13%	23%	9%
旭	821	72%	29%	21%	44%	31%	52%	9%	20%	11%
磯子	579	68%	75%	13%	36%	31%	53%	14%	21%	13%
金沢	656	79%	83%	20%	40%	34%	48%	11%	22%	15%
港北	1483	77%	22%	16%	40%	37%	55%	8%	22%	12%
緑	734	73%	13%	33%	40%	51%	68%	9%	21%	9%
青葉	966	74%	16%	23%	38%	42%	59%	9%	32%	14%
都筑	769	65%	16%	26%	51%	42%	65%	6%	19%	9%
戸塚	878	62%	79%	26%	45%	39%	59%	10%	25%	11%
栄	123	70%	87%	36%	41%	52%	72%	9%	28%	12%
泉	444	66%	58%	24%	48%	41%	63%	15%	25%	11%
瀬谷	474	69%	31%	31%	50%	36%	61%	9%	16%	13%
総計	10552	70%	41%	21%	41%	37%	55%	9%	22%	12%

※4 第 1 回目調査：1984 年 1～10 月 協力児童数 5,000 人超
 第 2 回目調査：1987 年 11 月、1988 年 6 月 協力児童数 13,981 人
 第 3 回目調査：1991 年 6～9 月 協力児童・生徒数 6,763 人

【ツバメの巣】

～今年使われた巣を見つけた時だけ教えてね。～

確認した人： 7,413 人/10,552 人 (70%)

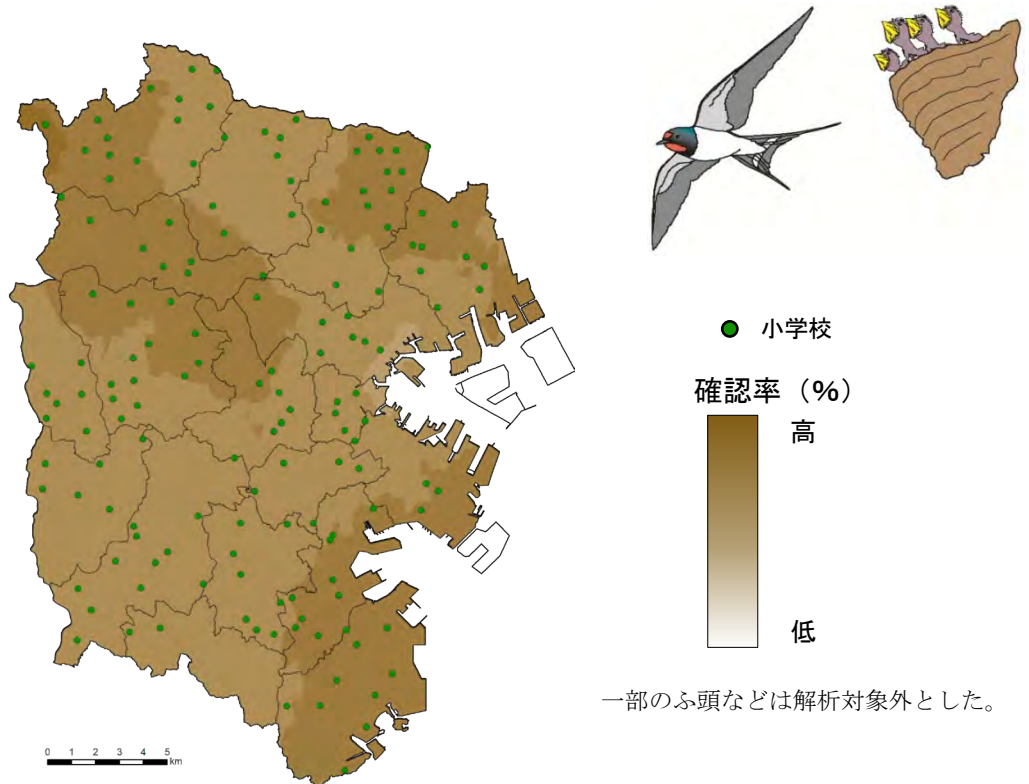


図 3-1-1
生き物別調査結果

一部のふ頭などは解析対象外とした。

【過年度結果】

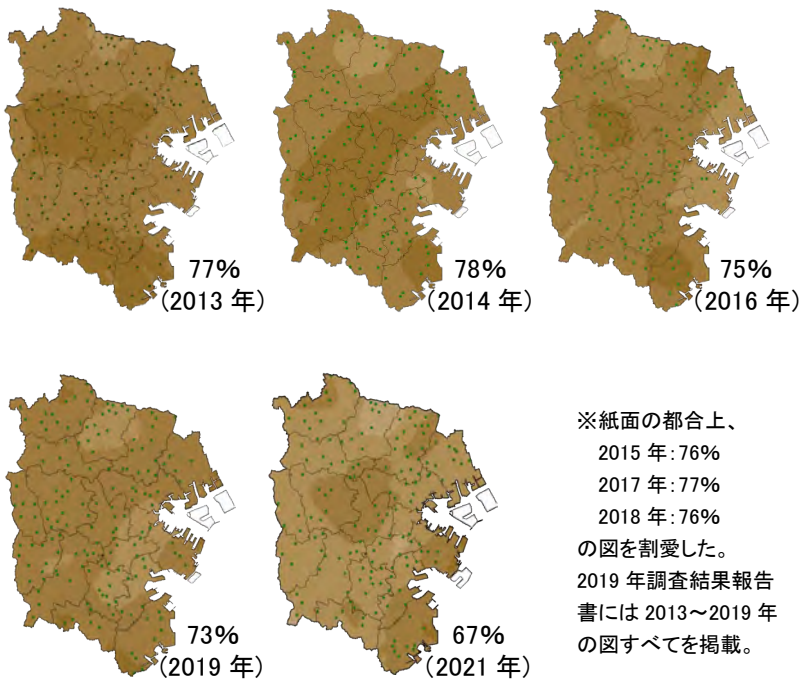


図 3-1-2 過年度調査結果

学校（回答数 10 人以上の 150 校）ごとの確認率は 14% から 100% とばらついた。2019 年まで、全体の確認率は 73～78% で推移していたが、2021 年は 67% とそれらを大きく下回り、コロナ禍での行動自粛が影響しているものと思われた。今回は 70% とやや持ち直したものの^{※5}、依然として低い状態である。

旭区周辺に確認率が高い地域があること、都筑区周辺に低い地域があることなど、多くの年で共通した特徴が見られており、今回も大きく矛盾はしないようである。

国内ではいくつかの調査でツバメが減少しているという結果もあり^{※6}、今後も継続して調査を行いたい。

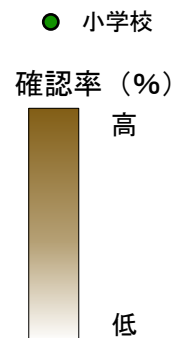
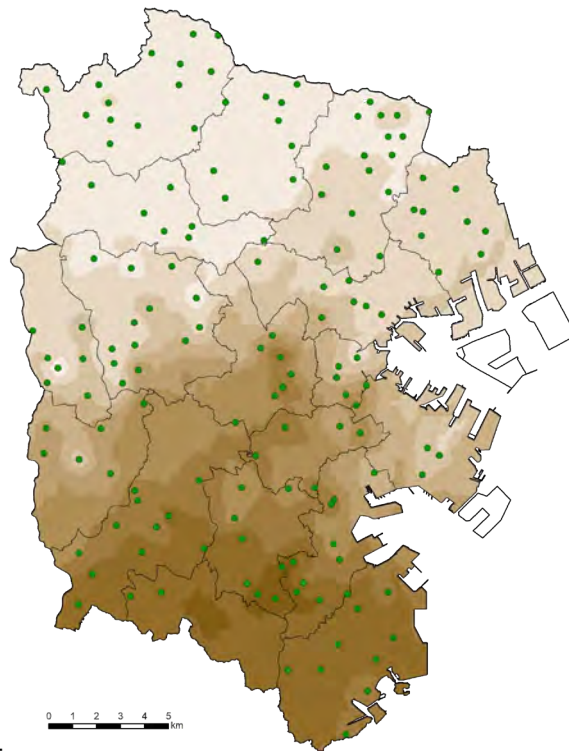
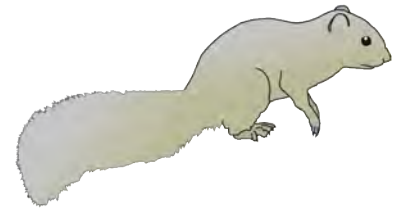
※紙面の都合上、
2015 年: 76%
2017 年: 77%
2018 年: 76%
の図を割愛した。
2019 年調査結果報告書には 2013～2019 年の図すべてを掲載。

※5 2016 年の前後、2019 年の前後は統計的（Z 検定 $p < 0.01$ ）に有意な（意味のある）差であった（確認率が減少または増加）。同様に、2022 年は前年と比較し、有意な差（Z 検定 $p < 0.01$ ）があった（増加した）。

※6 例えば、鳥類繁殖分布調査会（2021）全国鳥類繁殖分布調査報告日本の鳥の今を描こう 2016-2021 年. 175pp.
また、石川県健民運動推進本部では小学 6 年生が調査を行い、2022 年のツバメの成鳥や巣の数が 1972 年度以降、最も少なかったと報告している。

【リス】 ～今、横浜にいるのは外国からきた台湾リス。市内の南側に多い？～

確認した人： 4,373 人/10,552 人 (41%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

図 3-2-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

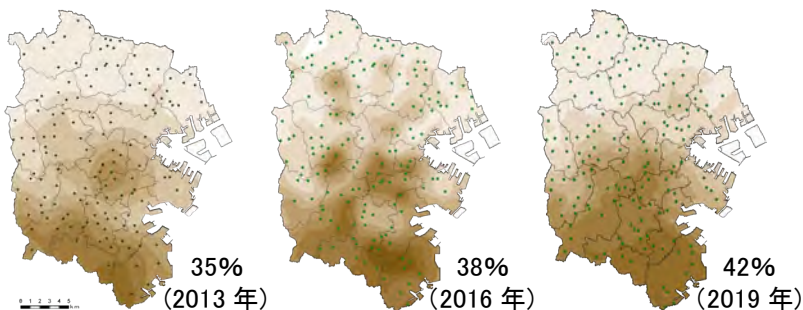


図 3-2-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 7%から 100%とばらつき、全体の確認率は 41%であった。もともと日本には生息していなかった外来種のクリハラリス（台湾リス）であり、神奈川県内や横浜市内での生息域は拡大傾向にある^{※7}。

今回の結果からは、学校別に加え、18 区別の確認率（表 2）にも大きな差

があり、リスが南部に多く、北部に少ない（いない）状況が読み取れる。

過年度調査では、市全体の確認率が上昇し（35%→38%→42%^{※8}）、生息範囲の北上や拡大（特に 2013 年から 2016 年にかけて）などの変化が示唆されたが、今回の結果は 2019 年の結果とほぼ同じで（統計的な有意差なし）、生息拡大は落ち着いているように見える。市の北部を西から東へ流れる恩田川や鶴見川などの大きな河川が生息拡大を制限しているのかもしれない（巻末の資料 10 参照）。恩田川のすぐ南に位置する緑区では、ここ 10 年でリスが見られるようになった地域もある^{※9}。市内でリスが減少する要因は見当たらず、長期的に見れば生息域が拡大傾向であることに変わりはないと思われ、今後の動向が注目される。

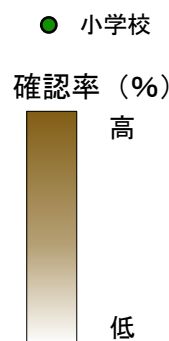
※7 例えば、田村典子・宮本麻子（2005）、七里ら（2019）。

※8 2013～2016 年、2016～2019 年は、統計的（Z 検定 $p < 0.01$ ）に有意な差であった（＝確認率が増加した）。

※9 横浜市環境科学研究所（2022）令和 3 年度陸域生物多様性に関する調査業務委託報告. 163pp.+資料

【カワセミ】 ～川や池に飛び込んで魚をつかまえるよ。～

確認した人： 2,263 人/10,552 人 (21%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

図 3-3-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

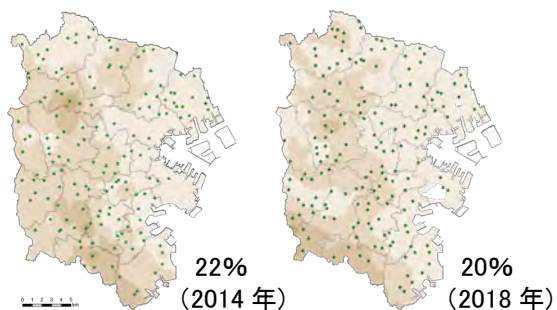


図 3-3-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 0% から 61% であった。コロナ禍において、市全体の確認率は 8 年前や 4 年前と大きく変わらないようである^{*10}。区ごとに比較しても、栄区、緑区では 30% を超えたのに対し、神奈川区や西区、磯子区では 15% を下回り、地域差が大きかった。確認率の高い地域が、緑の 10 大拠点（巻末の資料 4 参照）と重なる傾向は前回までと同様で、やはり確認率が高いのは、大きな池などを擁する規模の大きな緑地と言えそうである。

きれいな川に住む美しい鳥として有名なカワセミだが、現在、市内では大きな池や河川で周年見ることができ、繁殖も確認されている。過年度（1984～1991 年）のアンケート調査で調査の対象となっていないのは、当時、カワセミを確認できる頻度は低く調査対象となれなかったためである。2014 年、2018 年とともに、地域差はあるものの、全体で 5 人に 1 人が「確認した」と回答したことは注目に値する。

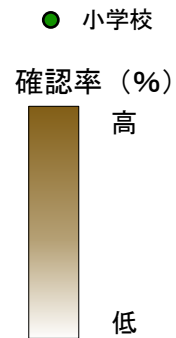
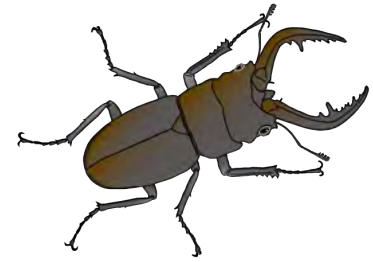
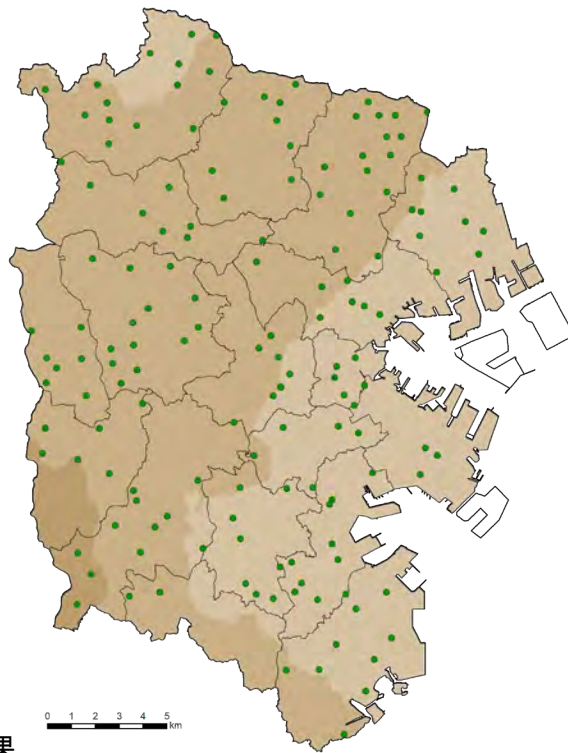
全国的には 1970 年代から 1990 年代にかけて分布が拡大し、都市部の公園などでも見られるようになったが、その後、2010 年代にかけては分布に大きな変化は見られていないとされている^{*11}。横浜市内の状況もおおむね全国的な傾向と合致するようである。

*10 2014～2018 年、2018～2022 年は統計的（Z 検定 $p < 0.01$ ）に有意な差であった。

*11 鳥類繁殖分布調査会（2021）全国鳥類繁殖分布調査報告日本の鳥の今を描こう 2016-2021 年. 175pp.

【ノコギリクワガタ】 ～オスのキバ（大あご）にはギザギザがいっぱい。～

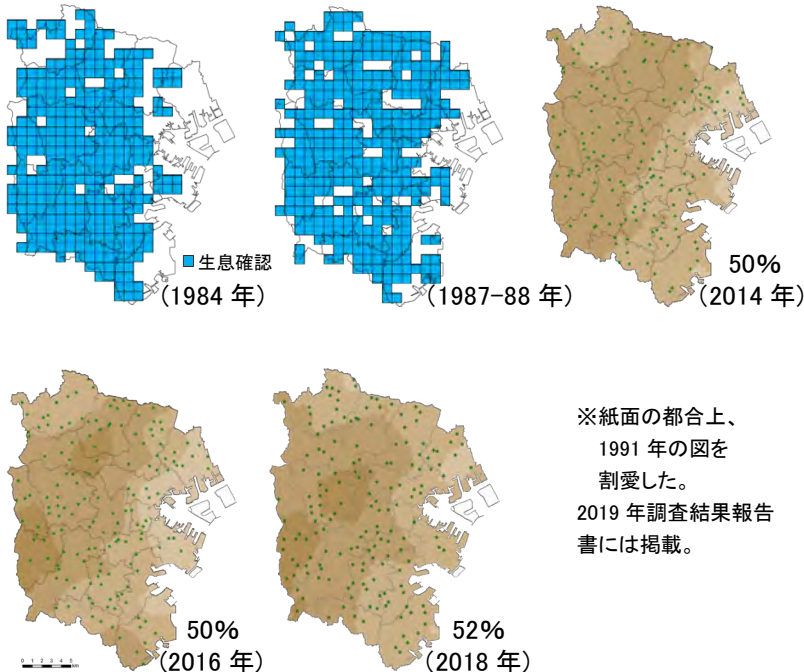
確認した人： 4,374 人/10,552 人 (41%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

図 3-4-1
生き物別調査結果

【過年度結果（1984 年は「クワガタ」として調査。以降は「ノコギリクワガタ」として調査。）】



学校ごとの確認率は 11% から 72% であった。市全体の確認率は 2014 年、2016 年に 50%、2018 年に 52% とやや増加^{※12}したが、今回は 41% と大きく減少した。コロナ禍による影響か、2022 年特有^{※13}の影響か、今後の推移を見たい。2014 年以降の色の濃淡は類似し、市の西側での確認率が高い傾向は変わらないようである。

カブトムシ（最近では 2021 年に調査）とともに里山的環境を指標する生き物として選定したが、両種は幼虫の成育場所、ライフサイクル等に違いがある。現在は 2 種の調査結果に大きな違いは見られないようであるが、今後の変化に注目したい。

※紙面の都合上、1991 年の図を割愛した。2019 年調査結果報告書には掲載。

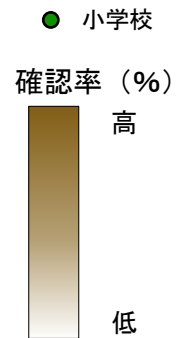
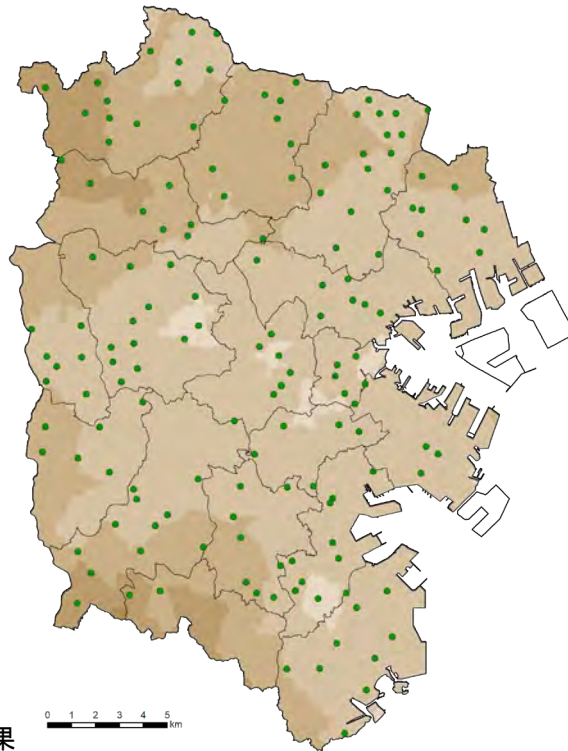
図 3-4-2 過年度調査結果

※12 2016～2018 年、2018～2022 年は、統計的（Z 検定 $p < 0.01$ ）に有意な差であった。

※13 例えば 2022 年 6 月下旬から 7 月上旬は例年より暑く、7 月は降雨が続いた。カブトムシでは初夏が猛暑の場合、その年の個体数は減るとの研究報告がある（桐谷, 2012）。また、同報告では、猛暑であった 2010 年はカブトムシだけでなくノコギリクワガタの捕獲数にも影響があった（減少した）としている。

【アマガエル】 ～3cm くらいの小さなカエル。体は灰色や茶色のときもあるよ。～

確認した人： 3,954 人/10,552 人 (37%)



一部のふ頭などは解析対象外とした。

図 3-5-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

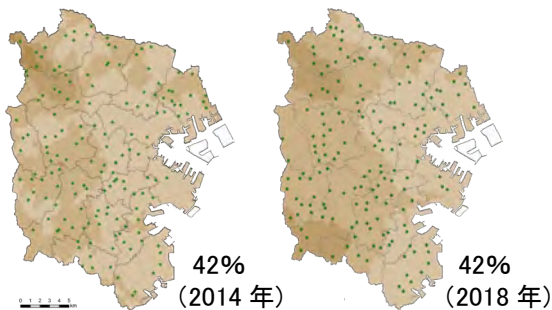


図 3-5-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 4% から 88% であった。市全体の確認率は 2014 年、2018 年ともに 42% と安定していたが、今回は、37% と大きく減少^{*14}した。

水田などで比較的普通にみられるカエルであったが、近年は水田環境の減少とともに、減少していることが懸念される。東京都では、2010 年度版レッドリストで絶滅危惧種に選定されている。水田などの止水域と関係性が深いと思われ、地域によっては、確認することが難しく

なっている生物と言える。

水環境を指標すると考えられるカワセミや、里地、里山的環境を指標すると考えられるノコギリクワガタ、つくし同様、市内西側での確認率が高く、東側臨海都市部での確認率が低い傾向も前回と同じであった。

北西部の青葉区や緑区、南西部の泉区、戸塚区、栄区、港南区において確認率が高い地域があるのは、市内の水田の分布（巻末の資料 5、6 参照）に関係しているものと考えられる。コロナ禍により 5 年生による野外での稲作の体験機会が減少しているとすれば、アマガエル確認率の減少に影響している可能性が高い。

今回、過年度より確認率が大きく減少したノコギリクワガタ、アマガエル、つくし（後述）は人の手によって維持されてきた「里山」を代表する生き物、ツバメは人家の周辺に営巣する生き物である。コロナ禍による人（児童）と自然との関わりに変化が起きている可能性もあり、今後を注視したい。

*14 2018～2022 年は、統計的（Z 検定 $p < 0.01$ ）に有意な差であった（＝確認率が減少した）。

【つくし】 ～春ごろに日なたにはえていたかな？食べられる植物だよ～

確認した人： 5,847 人/10,552 人 (55%)

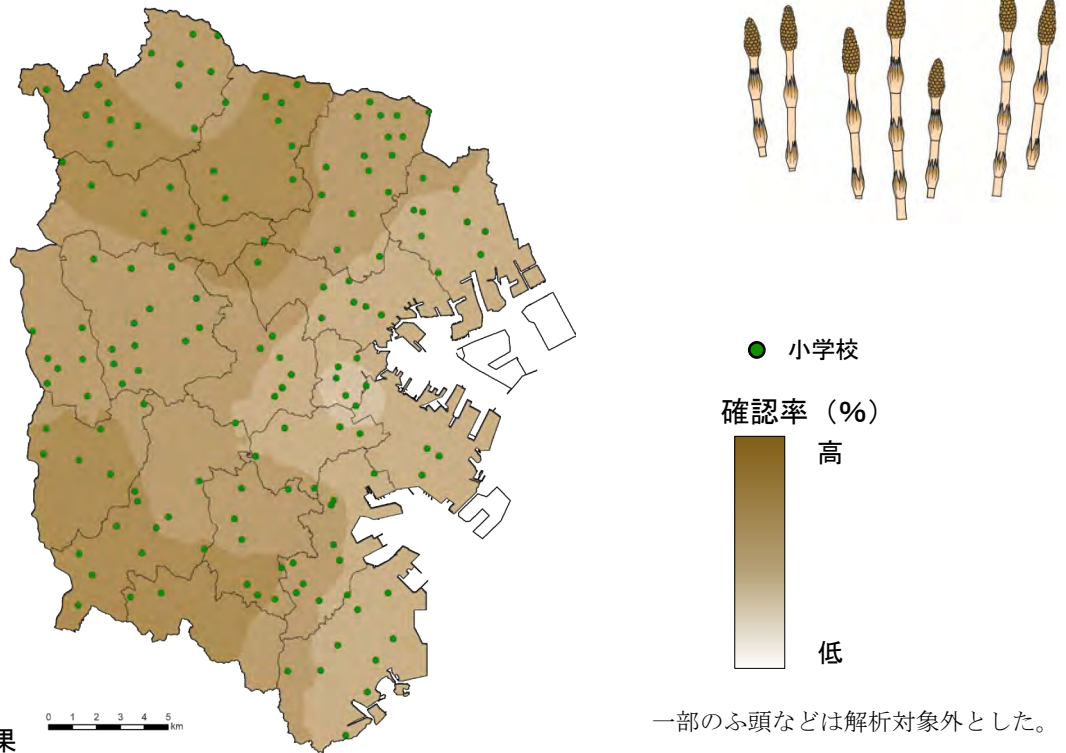


図 3-6-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

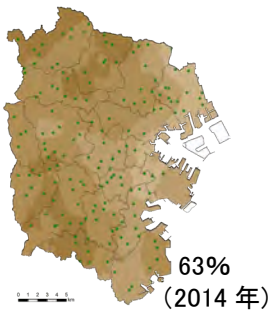


図 3-6-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は 14% から 84% であった。認知度の高い植物であり、確認率は比較的高かったが市全体の確認率は 2014 年の 63% から大きく減少^{※15}した。なお、本調査において、「つくし」が生物としては「スギナ」と同一であることについては言及していない。

概して市の西側で確認率が高い傾向は前回と同様で、「緑の 10 大拠点（巻末の資料 4 参照）」と重なる。

区ごとの確認率（33～72%）の高低は区ごとの緑被率^{※16}の高低と重なるようで（例えば、つくしの確認率の高かった栄区と緑区は、令和元年度緑被率が高かった 2 区で、つくしの確認率の低かった西区、中区、鶴見区、南区は、令和元年度緑被率が低かった 4 区である）、臨海都市部では見つけづらい植物となっているようである。

※15 2014～2022 年は、統計的（Z 検定 $p < 0.01$ ）に意味のある差であった（＝確認率が減少した）。

※16 横浜市（2019）令和元年度 緑被分布図、横浜市第 11 次緑地環境診断調査（令和元年度）。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/chosa/ryokuhi.html>

【アライグマ】 ～手先が器用で魚もつかまえるよ。夜に行動することが多いよ。～

確認した人： 1,002 人/10,552 人 (9%)

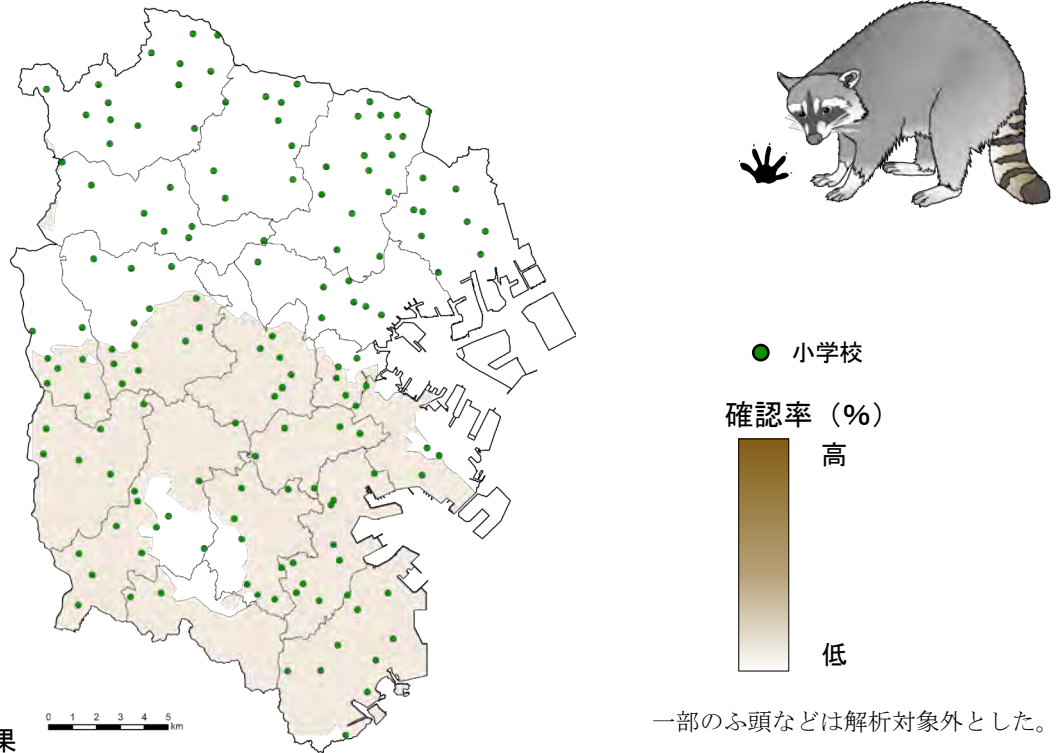


図 3-7-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

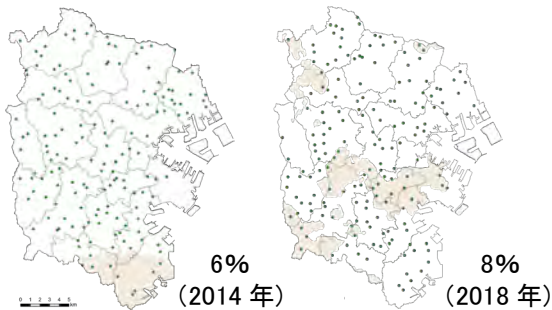


図 3-7-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は0%から33%であった。知名度は高いが、夜行性であり、全体の確認率は9%と対象生物中、最も低かった。前回の2018年から1ポイントの増加だが、統計的には有意な差であり^{※17}、2014年から連続で増加している。

外来種で、県内では1988年頃に鎌倉市で初めて確認され^{※18}、1998年頃から増加、県南東部を中心に県中部へ分布を拡大させている。多様な環境に適応すると

されており、これまで市内では全ての区においてアライグマの目撃や捕獲の実績があるが、今回の結果からは、どちらかと言えば市南部での目撃が多いようである。なお、低い確認率をより細分して色分けした図を後に示す(図5)。

環境省は2005～2006年と2010～2017年に全国でアライグマ分布調査を行い、アライグマの分布範囲が著しく拡大したとしている^{※19}。市内での確認率の増加はアライグマが生息範囲だけでなく、生息数(密度)も増加させている可能性を示している。過年度(1984年～1991年)の調査時にはいない、もしくは生息密度が低く、調査対象とはなりえなかった生き物であるが、今後の動向が注目される。

※17 Z検定 $p < 0.01$ 。

※18 中村一恵(1991)神奈川県におけるアライグマの野生化. 神奈川自然誌資料, 12, 17-19.

※19 環境省(2018)分布を拡大する外来哺乳類 アライグマ ハクビシン ノートリア. 8pp.

【タヌキ】 ～横浜にも、いっぱいいるはず。夜に行動することが多いよ。～

確認した人：2,329人/10,552人 (22%)

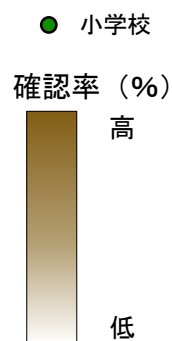
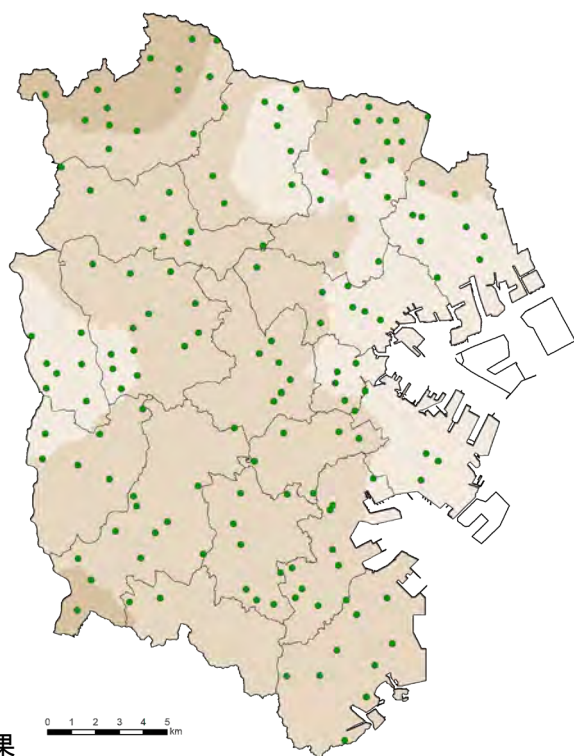


図 3-8-1
生き物別調査結果

一部のふ頭などは解析対象外とした。

【過年度結果】

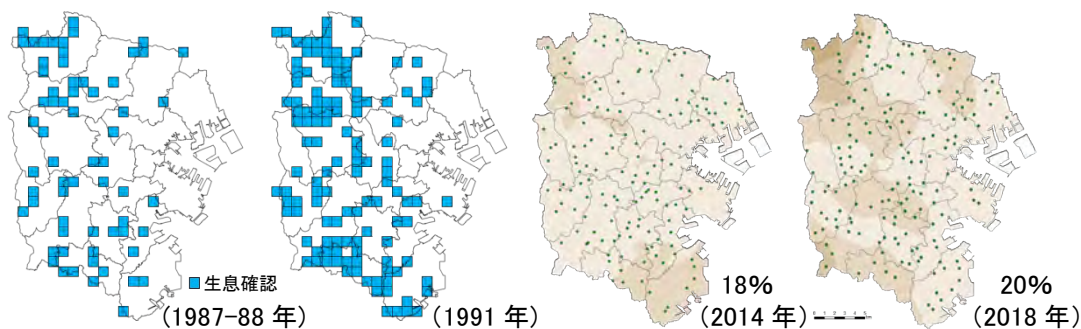


図 3-8-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は0%から56%であった。アライグマ、ハクビシン同様、夜行性であるが、知名度もあり、確認率は相対的に高かった。過年度の調査では、1987-88年より1991年の方が確認されたメッシュが大幅に増加しており、タヌキが人目につきやすいところに出てくるようになった可能性が指摘されている。現在は市内広域に生息しているものと思われるが、やはり確認率が高いのは、市の西側の樹林地、丘陵地のようなものである。

市全体の確認率は2014年の18%、2018年の20%と徐々に増加している^{※20}。コロナ禍の影響も懸念されるなか、以前より確認率の上昇した数少ない生き物で、市内での目撃頻度は増加傾向と言える。

なお、低い確認率をより細分して色分けした図を後に示す(図5)。

※20 2014～2018年、2018～2022年は、統計的(Z検定 $p < 0.01$)に有意な差であった(=確認率が増加した)。

【ハクビシン】 ～果物大好きで、木のぼりが上手。夜に行動することが多いよ。～

確認した人：1,234人/10,552人 (12%)

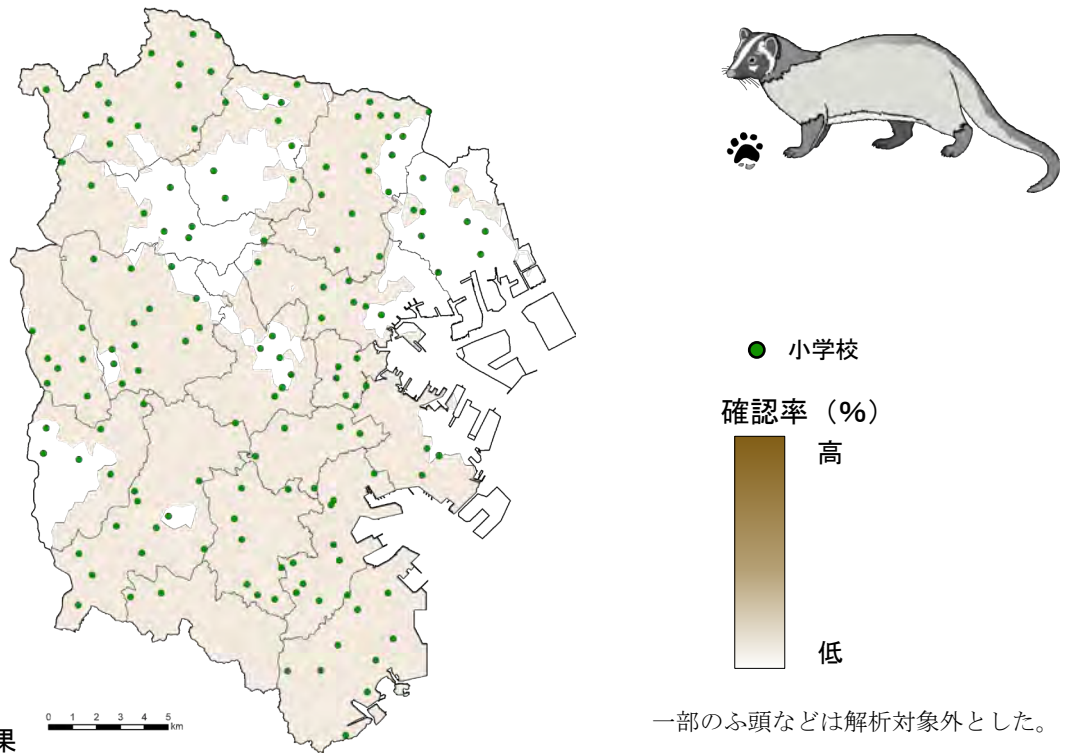


図 3-9-1
生き物別調査結果

【過年度結果】

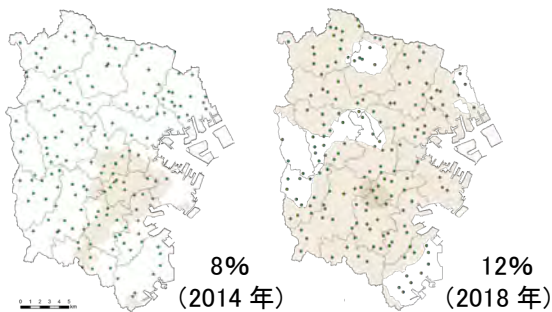


図 3-9-2 過年度調査結果

学校ごとの確認率は0%から30%であった。アライグマ、タヌキ同様、夜行性である。知名度は低いと思われるがアライグマより確認率が高かったのは、生息数の多さのほか、庭木に登ったり、電線を伝って歩いたり目立ち、印象に残りやすい行動をとることも一因と思われる。

ハクビシンについても、環境省は全国で実施した2002年以前と2010～2017年の調査結果を比較して、

分布範囲が拡大したとしている^{※21}。

外来種で、国内では比較的早くから生息が確認されているが（国内での記録は1943年が初）、横浜市内で初めて確認されたのは1989年で^{※22}、現在は全ての区に生息している（捕獲記録がある）。市全体の確認率は2014年（8%）から2018年（12%）に増加^{※23}、今回（12%）は変わりなかったが^{※24}、コロナ禍の影響も考えられ、今後は増加の可能性もある。アライグマ同様、過年度の調査では、生息密度が低く、調査対象とはなりえなかったが、今後の動向が注目される。なお、低い確認率をより細分して色分けした図を後に示す（図5）。

※21 環境省（2018）分布を拡大する外来哺乳類 アライグマ ハクビシン ヌートリア. 8pp.

※22 板橋ら（2010）ハクビシンの横浜市内への進出について. 神奈川自然誌資料, 31, 85-87.

※23 統計的（Z検定 $p < 0.01$ ）に有意な差であった。

※24 小数点以下の数値の差により、統計的（Z検定 $p < 0.05$ ）には有意な差があった（2022年に減少）。

(2) 季節別確認者数の比較について

前述のとおり、調査票には生き物を確認した季節を区別して記入することとなっているが、集計は季節の区別なく、いずれかの季節に○があれば、その生き物を確認したものとみなしている。今回、調査対象とした生き物にも、一年中確認できる生き物、特定の季節にしか確認できない生き物などが含まれる。そのうち、一年中確認できる可能性のあるリスについて、いくつかの学校において季節別の集計を行った。

以下に結果と考察を示すが、過年度の結果から、どの生物も概して夏季の確認者数が多い傾向にあることがわかっている。アンケート実施時期（配布～回収）が夏季であることに起因する可能性があり、評価においては注意を要する。

【リス】

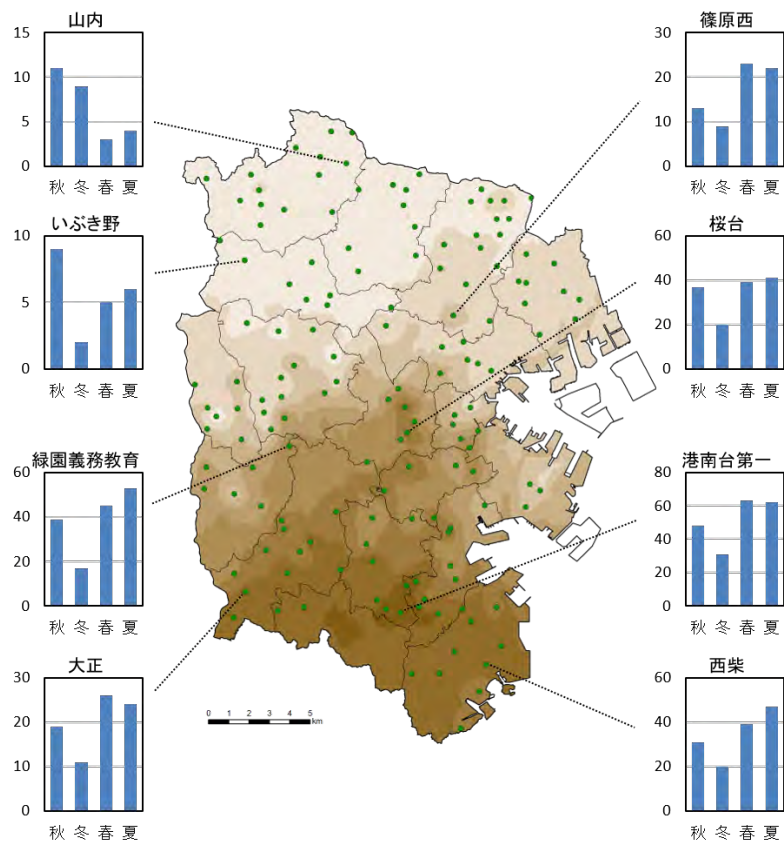


図 4-1-1 季節別確認者数の違い その 1(リス)

リスの生息密度が高いと思われる南部の小学校と、低いと思われる北部の小学校を比較すると、大まかな傾向として、南部の小学校では、冬の確認者数が少なく、春もしくは夏の確認者数が多いようである。一方、北部の小学校では、秋の確認者数が多いようである。この傾向は、同様に季節別の確認者数を比較した2016年のリスの結果とも合致した。

北部地域でリスを目撃する頻度は低く、生息域拡大のために移動分散する個体が秋に多く確認されるのかもしれない。一方で、リスに馴染みのない北部地域では「リスは秋にクルミやドングリを食べる」といった一般的なイメージが結果に強く表れた可能性もある。

冬は葉が少なく、見つけやすい一方、日没が早く、昼行性のリスは夏に比べ、早めにねぐら入りしてしまう。青葉区の山内小学校だけ冬の確認者数が比較的多かったのが、特異的と言える。

表 3-1 季節別確認者数の違い(リス)

No.	区名	小学校名	確認率	回答数	確認者数	確認した時季(複数回答あり)			
						秋	冬	春	夏
32	港南	港南台第一	93%	91	85	48	31	63	62
42	保土ヶ谷	桜台	90%	71	64	37	20	39	41
76	金沢	西柴	86%	74	64	31	20	39	47
83	港北	篠原西	42%	93	39	13	9	23	22
96	緑	いぶき野	15%	124	18	9	2	5	6
120	青葉	山内	20%	122	24	11	9	3	4
134	戸塚	大正	84%	61	51	19	11	26	24
152	泉	緑園義務教育	74%	127	94	39	17	45	53
合計			58%	763	439	207	119	243	259

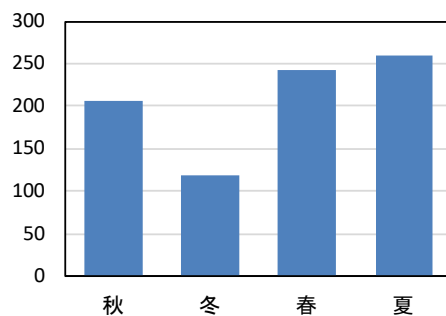


図 4-1-2 季節別確認者数の違い その 2(リス)

(3) 哺乳類 3 種の比較

確認率の高低は、0%から100%までを10段階に区切り、10%刻みで色を変えて表現している。しかし、アライグマ、ハクビシンについては、全体の確認率が低く、市域全体の状況を表示するにあたって、地域間の確認率の高低差を表現できなかった。そこで、参考までに確認率（色使い）を細分し^{※25}、地域間の確認率の高低差がより明確になるよう表現した（図5）。確認率数%の差は、誤差の範囲内である可能性があり、注意が必要である。同じく夜行性の哺乳類であり、餌や生息地について競合する可能性のあるタヌキについても、同様の方法で作図し、比較のために掲載した。

また、図6、7に、過年度（2018年、2014年）の調査結果を同様の方法で再区分した図を示した。

アライグマについては、2014年調査時は、市南部および旭区周辺に確認率が相対的に高い地域があり、2018年調査時は、それほど南部に偏る傾向は見られなかったとしている。今回の結果は、2018年の図に似るものの、図3-7-1も併せて検討すると、どちらかと言えば市南部の確認率が高そうである。また、南区周辺に確認率の高い地域があるのは、2018年のアライグマ、タヌキ、ハクビシンと似た傾向であった。

タヌキについては、市北西部に確認率が相対的に高い地域があること、北部の都筑区周辺に低い地域があることなどが2014年、2018年調査結果と共通した。南部の濃淡は2018年調査結果と共通した。他の種も含め、2014年調査時には市南西部（泉区、戸塚区、栄区）の調査参加校がやや少ない。確認率（色使い）を細分した際には、特に、調査参加校の配置によって調査結果（色の濃淡）が極端（過大または過小評価）となる可能性があり、注意を要する。

ハクビシンについては、2014年、2018年調査結果と大きな変化は無いように見えた。南区から港南区にかけての地域はいずれも確認率が高めであったが、理由は不明である。

参考として、図8、9に、2011年度に、アライグマ、ハクビシンが捕獲された地点を示した。

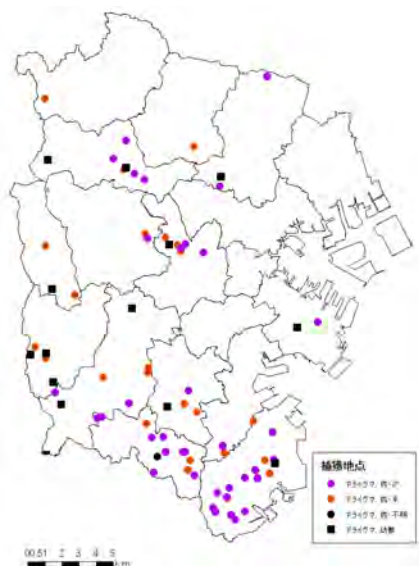


図8 アライグマ捕獲地点(2011年度)

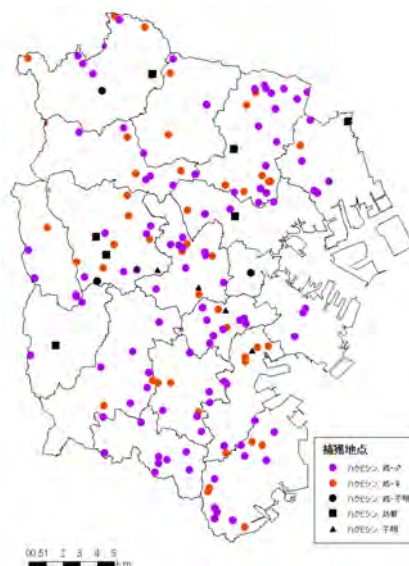


図9 ハクビシン捕獲地点(2011年度)

※25 学校ごとの確認率0~25%（アライグマ）、0~50%（タヌキ）、0~45%（ハクビシン）を10段階で色分け

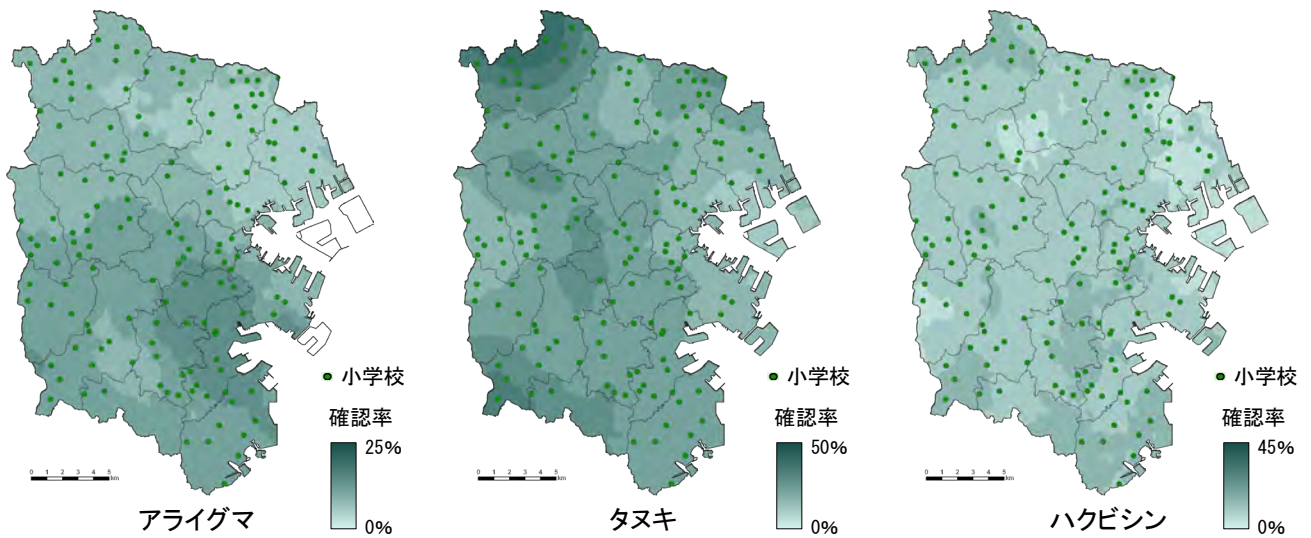


図5 哺乳類3種の確認状況(確認率細分) 2022年

一部のふ頭などは解析対象外とした。

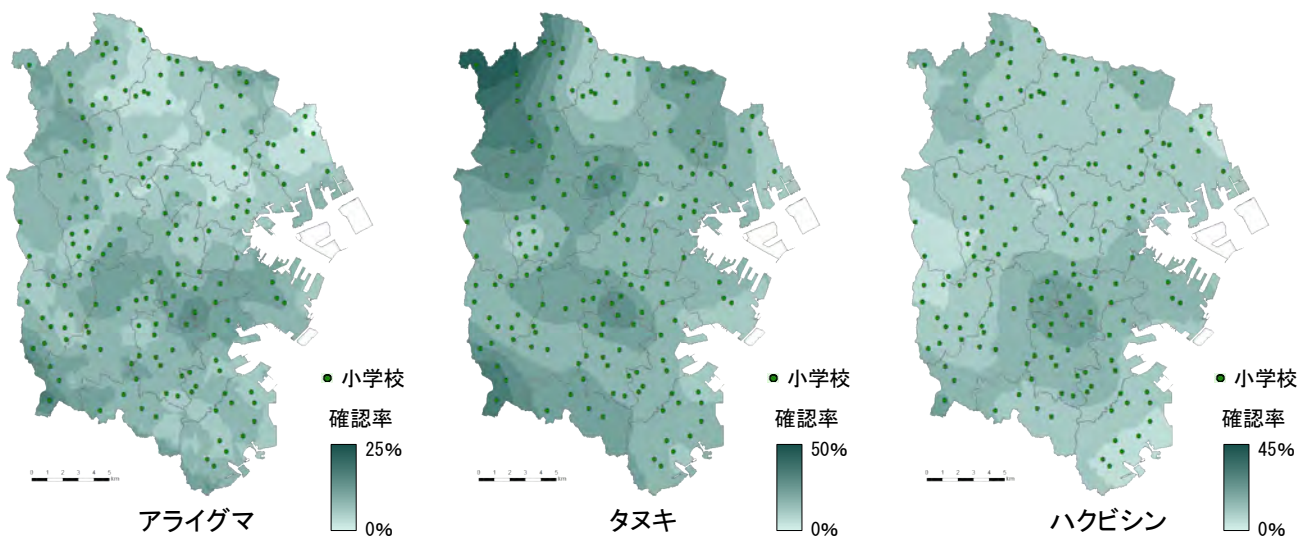


図6 哺乳類3種の確認状況(確認率細分) 2018年

一部のふ頭などは解析対象外とした。

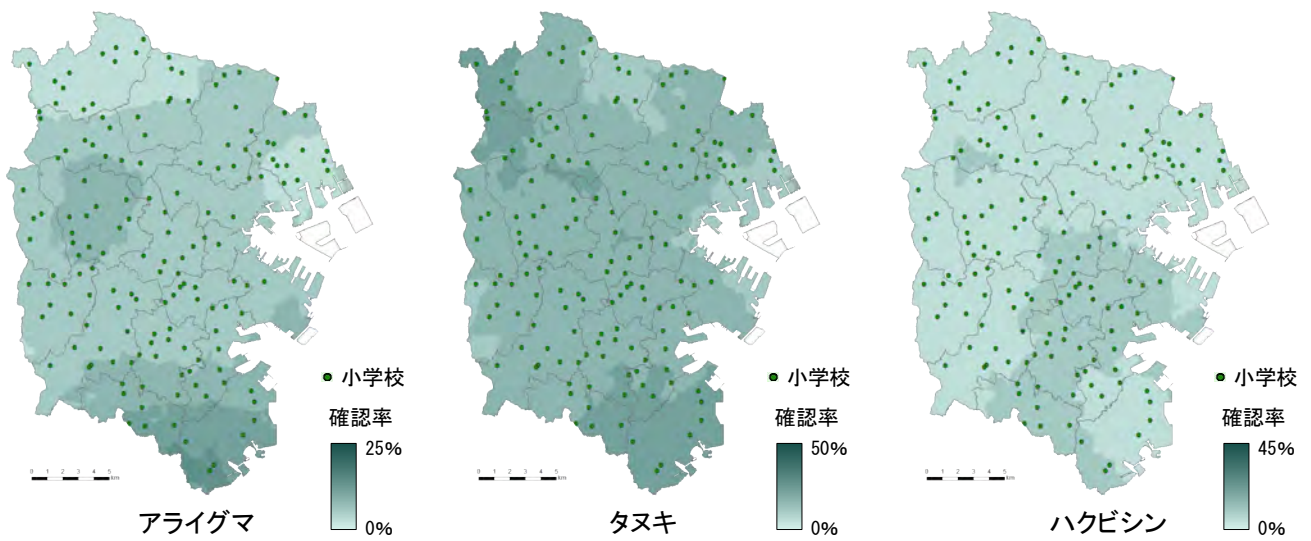


図7 哺乳類3種の確認状況(確認率細分) 2014年

一部のふ頭などは解析対象外とした。

5 おわりに

本報告で示した「確認率」は、前述のとおり、単にその生き物の生息密度を表すものではなく、観察場所へのアクセスのしやすさ、課外授業や環境教育への取組状況などによる生き物への関心度などによって変化するものである。里山的な環境の有無を調べるのであれば、植生図や土地利用図を見る方法もある。しかし、その図面とそこに棲む生き物の状況、また、その生き物を観察する児童の目を通した今回の調査結果とを比較し、差異を考察することも重要と思われる。

一方で、本調査は、市内広域における生物分布情報を得るのに適した手法の1つとなりうる。専門家（専門業者）による分布調査は、調査時間や範囲に限られ、市内広域を網羅するには多大な労力、時間を要する。誤同定や勘違いなど不特定多数に対するアンケート調査の特性を踏まえながら、本調査を継続し、より多くのデータを蓄積すること、普及啓発によって同定精度を向上させていくこと、長期的な視点で解析・考察していくことなどが重要である。

1984～1991年の3回のアンケート（聞き取り）による分布調査は、市内の小・中・高等学校の先生方による「横浜生物調査研究会」のメンバーが中心となって調査方法の検討、結果の取りまとめ、解析を実施してきた。調査開始から30年以上が経過し、緑被率は40.3%（1982年度）から27.8%（2019年度）へ減少するなど、市内の自然環境は大きく変化しており、それにともない児童・生徒が自然環境にかかわる度合いや状況も大きく変化していると考えられる。また、2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症の流行は、調査の中止（2020年）のみならず、それ以降の調査結果（生き物の確認率）にも大きく影響を与えているものと思われる。

一方、生き物の生息状況自体にも変化が生じている。ノコギリクワガタ（2014・16・18・22年調査）は、1987-88年の調査同様、市内広域で確認されたが、コウモリ（2013・17・21年）は1991年の調査より確認地域が広まっている可能性がある。ツバメやスズメ（2017・21年）はごくありふれた生き物だったかもしれないが、現在は全国的に減少していると言われている。逆に近年、増加傾向にあるカワセミ（2014・18・22年）やハグロトンボ（2016年）、外来種であるリス（2013・16・19・22年）やアライグマ（2014・18・22年）、さらには植栽木の移動や温暖化の影響などが指摘されるクマゼミ（2014年）などは、当時は目にする機会が少なく、調査の対象とはなり得なかった。

こども「いきいき」生き物調査と題し、2013年に再開した調査では、調査対象とする生き物に、市内であればどこでも確認可能な種を含めるなどの配慮を行い、9種類のうち1種類も〇がつけられなかった児童の割合は0.6～3.9%で推移してきた。しかし、今年度は見つけにくい生き物が多く、7.8%と最も高い割合であった。今後、調査を継続するにあたり、これまで以上に対象種の精査を図っていきたい。ただし、コロナ禍による行動自粛や行動変容の影響もあったと考えられ、その影響はしばらく継続するかもしれない。

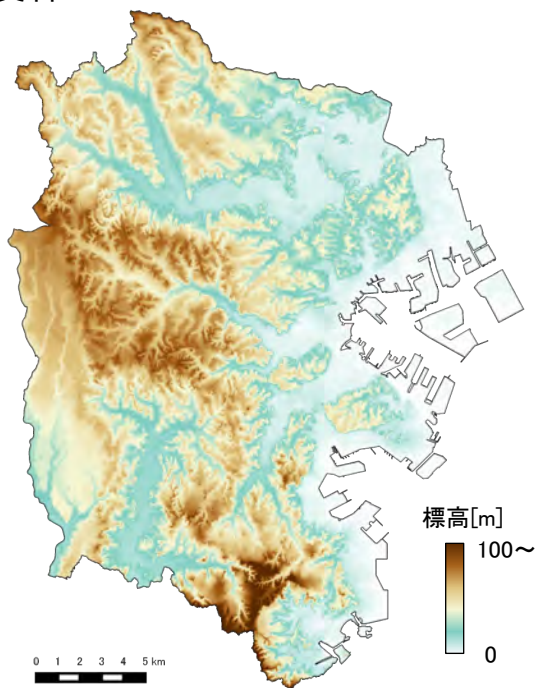
今年度を含め、これまでにいくつかの生き物、学校について、季節別確認者数を集計したが、現在の調査方法（アンケート調査実施時期や設問方法など）では、季節別の比較は難しい可能性が示唆されている。短期的な視点で季節別の比較を行うには、調査方法の再検討が必要かもしれない。算出された数値をそのまま利用するのではなく、そのような結果となった背景を踏まえ、他のデータとの突き合わせを行いながら、長期的な視点で解析することにより、見えてくる傾向もあると考えられる。

最後に、調査方法や対象種の選定にあたっては、環境教育や生き物観察に造詣の深い先生方や指導主事の方からご意見をいただいた。そのなかには、過年度に横浜生物調査研究会のメンバーとして活躍された先生方も含まれており、大変有意義なご意見をいただいた。本調査にご協力いただいた各学校の先生方、児童のみならず、ご意見などいただいた方々に深く感謝するとともに、本取組や調査結果を積極的に活用し、生物多様性の主流化を推進していただけるようお願いする次第である。

参考文献

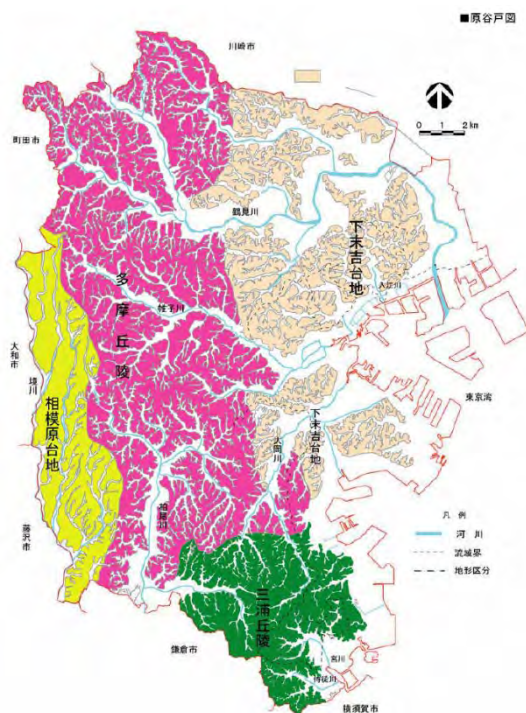
- 1) 鳥類繁殖分布調査会 (2021) 全国鳥類繁殖分布調査報告日本の鳥の今を描こう 2016-2021 年. 175pp.
<https://bird-atlas.jp/news/bbs2016-21.pdf>
- 2) 石川県健民運動推進本部 (2022) 令和4年度ふるさとのツバメ総調査結果について.
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kisya/r4/documents/1117kenmin_tyousa.pdf
- 3) 田村典子・宮本麻子 (2005) 神奈川県におけるタイワンリスの分布拡大の現状と拡大防止対策について.
神奈川自然誌資料, 26, 57-60.
- 4) 七里浩志・小森昌史・川村顕子・堀 哲・松岡良樹・真部大数・本多冬磨 (2019) 横浜市内樹林地におけるクリハラリスの防除について. 環境科学研究所報, 43, 58-66.
- 5) 横浜市環境科学研究所 (2022) 令和3年度陸域生物多様性に関する調査業務委託報告. 163pp.+資料
- 6) 桐谷圭治 (2012) 里地里山の生物指標としてのカブトムシの基準個体群密度の設定と個体群動態. 昆虫ニューシリーズ), 15 (4), 232-242.
- 7) 横浜市 (2019) 令和元年度 緑被分布図. 横浜市第11次緑地環境診断調査 (令和元年度).
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/chosa/ryokuhi.html>
- 8) 中村一恵 (1991) 神奈川県におけるアライグマの野生化. 神奈川自然誌資料, 12, 17-19.
- 9) 環境省 (2018) 分布を拡大する外来哺乳類 アライグマ ハクビシン ヌートリア. 8pp.
- 10) 板橋正憲・和田優子・富岡由香里・菊地昭夫 (2010) ハクビシンの横浜市内への進出について. 神奈川自然誌資料, 31, 85-87.
- 11) 横浜市公害対策局 (1986) 横浜の川と海の生物 (第4報). 公害資料, 126, 352pp.
- 12) 横浜市公害対策局 (1989) 横浜の川と海の生物 (第5報). 公害資料, 140, 392pp.
- 13) 横浜市環境保全局 (1992) 横浜の川と海の生物 (第6報). 環境保全資料, 161, 458pp.
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/shiryo/pub.html>
- 14) 横浜市環境科学研究所 (2013) こども「いきいき」生き物調査2013結果報告書. 14pp+資料.
- 15) 横浜市環境科学研究所 (2014) こども「いきいき」生き物調査2014結果報告書. 22pp+資料.
- 16) 横浜市環境科学研究所 (2015) こども「いきいき」生き物調査2015結果報告書. 21pp+資料.
- 17) 横浜市環境科学研究所 (2016) こども「いきいき」生き物調査2016結果報告書. 19pp+資料.
- 18) 横浜市環境科学研究所 (2017) こども「いきいき」生き物調査2017結果報告書. 17pp+資料.
- 19) 横浜市環境科学研究所 (2018) こども「いきいき」生き物調査2018結果報告書. 18pp+資料.
- 20) 横浜市環境科学研究所 (2019) こども「いきいき」生き物調査2019結果報告書. 17pp+資料.
- 21) 横浜市環境科学研究所 (2021) こども「いきいき」生き物調査2021結果報告書. 18pp+資料.
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/naiyou/tayosei/ikiiki.html>
- 22) 横浜市環境科学研究所 (2002) 横浜型エコシティ研究報告「花鳥風月のまちづくり」. 環境研資料, 146, 122pp.
<http://archive.city.yokohama.lg.jp/kankyo/mamoru/kenkyu/shiryo/pub/pub0146/>
- 23) 横浜市環境創造局政策調整部政策課 (2018) 横浜みどりアップ計画[2019-2023]. 86pp.
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/midori2019.files/midori2019-keikaku.pdf
- 24) 横浜市建築局企画部都市計画課 (2018) 横浜市土地利用のあらまし 平成26・27年度 横浜市都市計画基礎調査 (土地利用現況・建物現況). 18pp.
<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kenchiku/toshikeikaku/yoko/sankou/kisocho.html>

参考資料



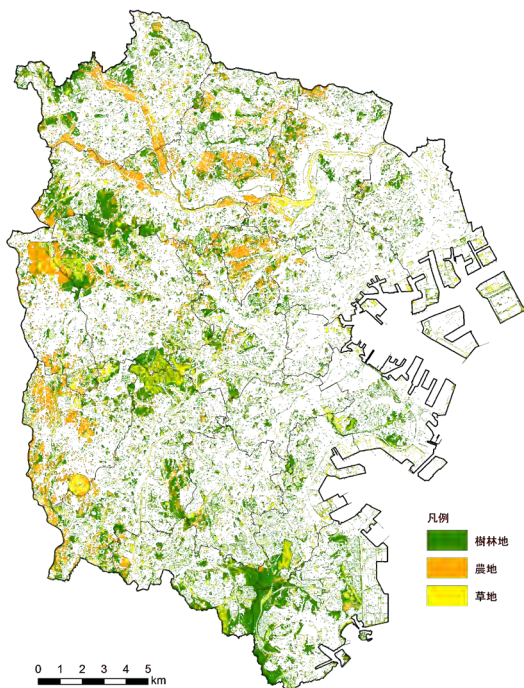
資料 1 横浜の標高

(国土地理院 基盤地図情報数値標高
モデルから環境科学研究所が作成)



資料 2 横浜の地形

(横浜型エコシティ研究報告書 花鳥風月のまちづくり
横浜市環境科学研究所,2002 年より)



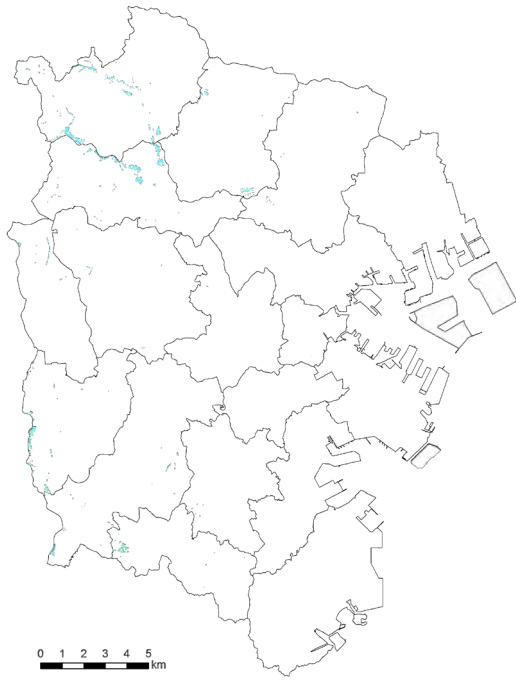
資料 3 令和元年度 緑被分布図

(横浜市第 11 次緑地環境診断
調査(令和元年度)より作成)

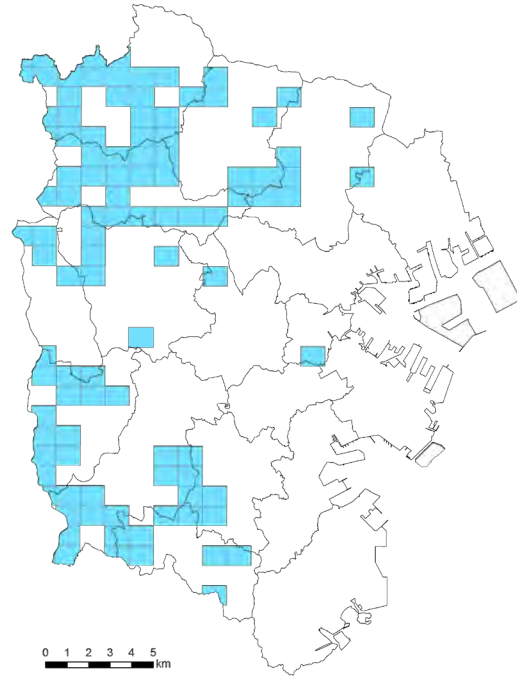


資料 4 緑の 10 大拠点

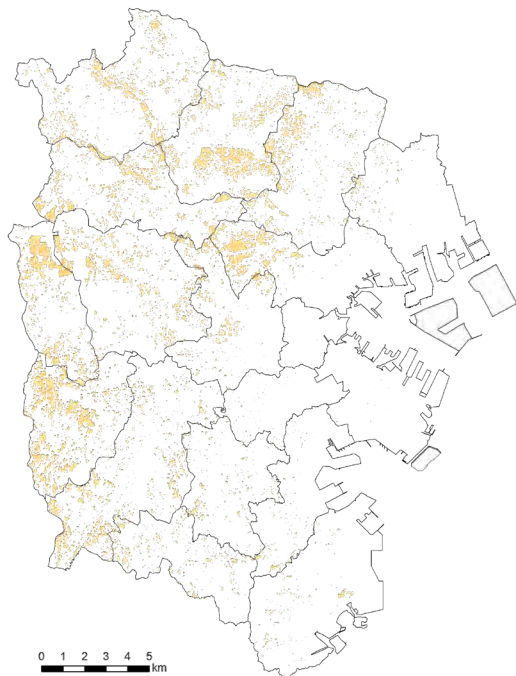
(横浜みどりアップ計画[2019-2023],
横浜市環境創造局,2018 年より)



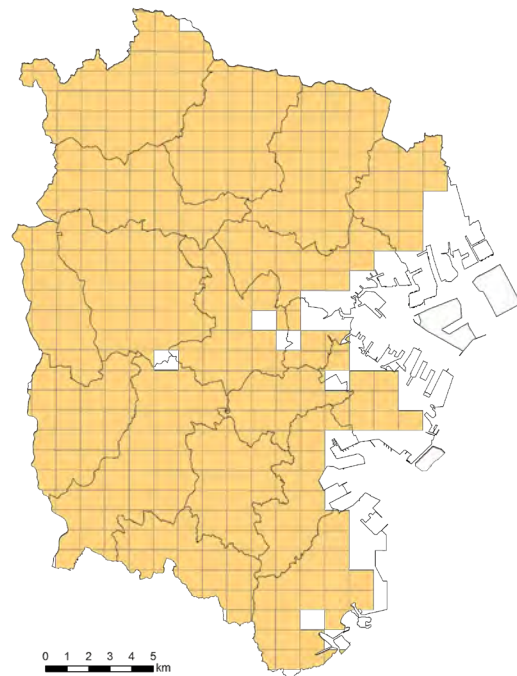
資料5 横浜市内における水田の分布
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)



資料6 横浜市内における水田の分布(メッシュ単位)
水田のある地域を3次メッシュ(およそ1km四方)単位で示した。
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)



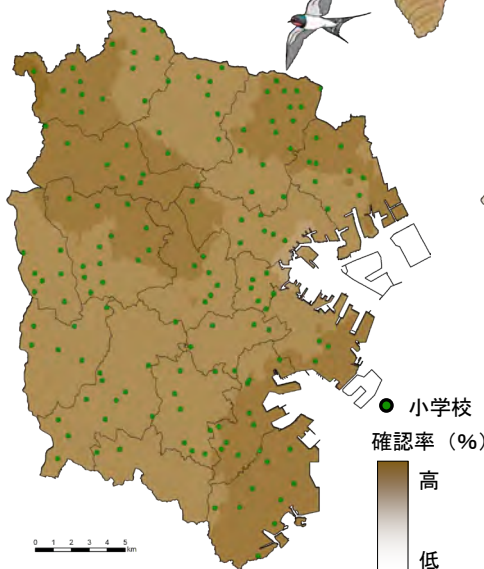
資料7 横浜市内における畑の分布
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)



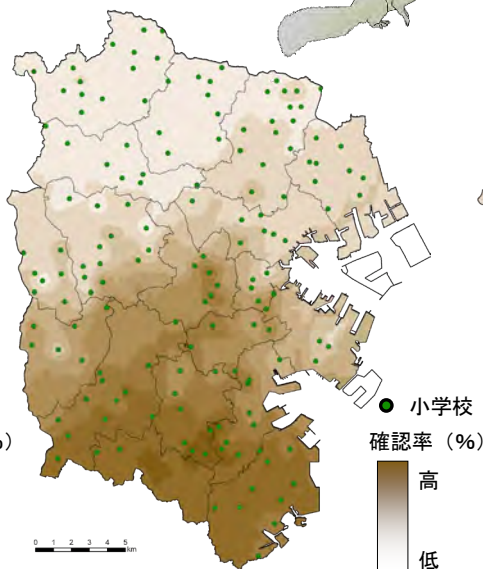
資料8 横浜市内における畑の分布(メッシュ単位)
畑のある地域を3次メッシュ(およそ1km四方)単位で示した。
(建築局都市計画基礎調査データ(H20)を基に作成)

資料9 こども「いきいき」生き物調査 2022 調査結果(河川なし)

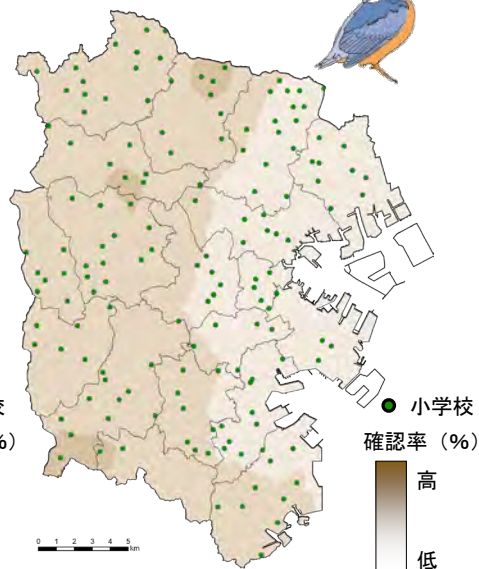
ツバメの巣 70%



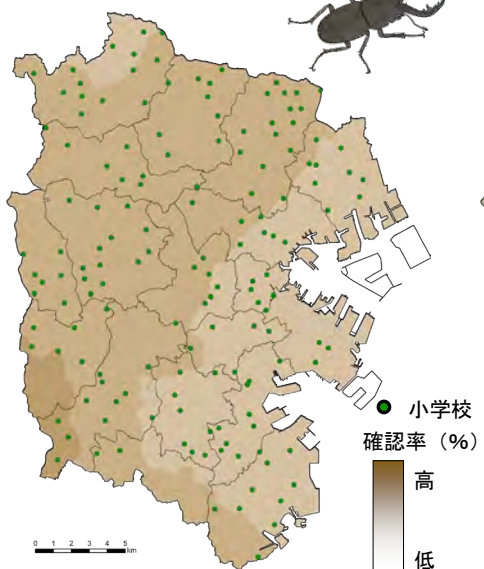
リス 41%



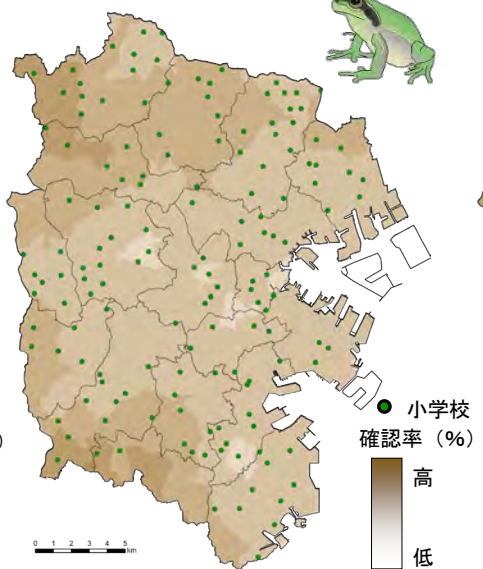
カワセミ 21%



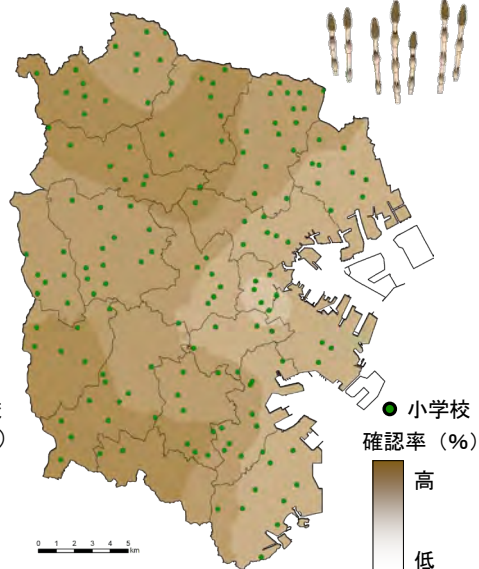
ノコギリクワガタ 41%



アマガエル 37%



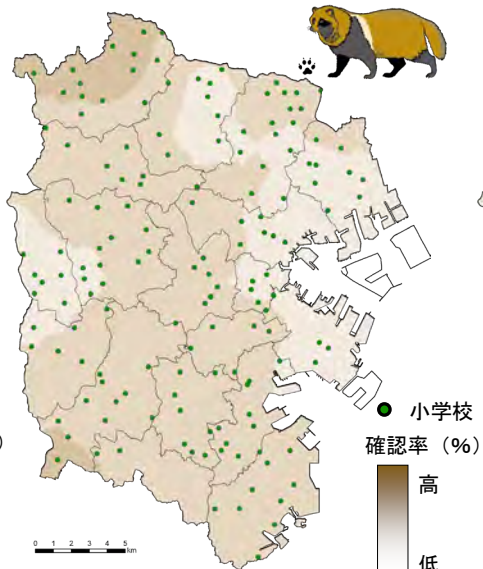
つくし 55%



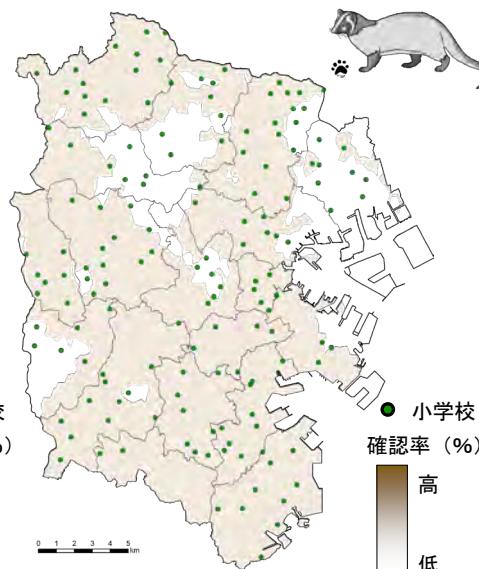
アライグマ 9%



タヌキ 22%



ハクビシン 12%



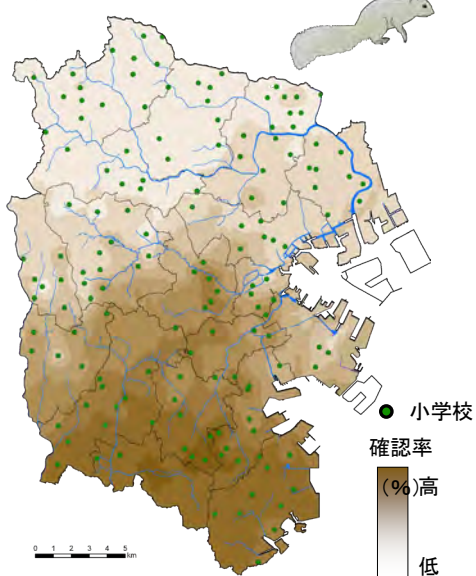
注)色の濃淡は、小学校ごとの確認率をもとに統計的に計算、作図したものです。一部のふ頭などは解析対象外としました。

資料 10 こども「いきいき」生き物調査 2022 調査結果(河川あり)

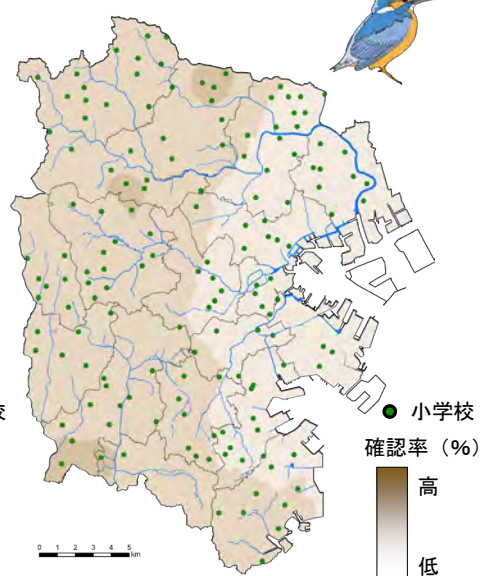
ツバメの巣 70%



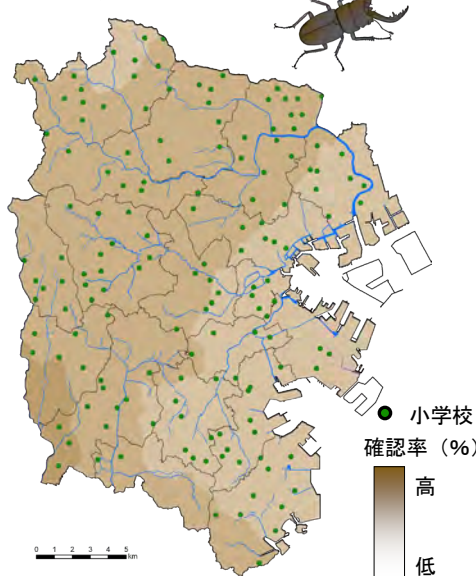
リス 41%



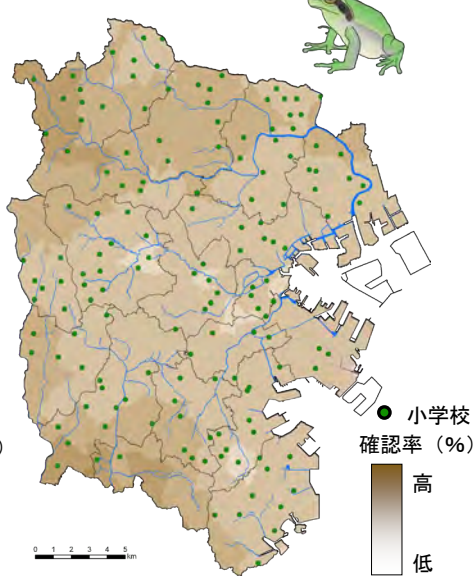
カワセミ 21%



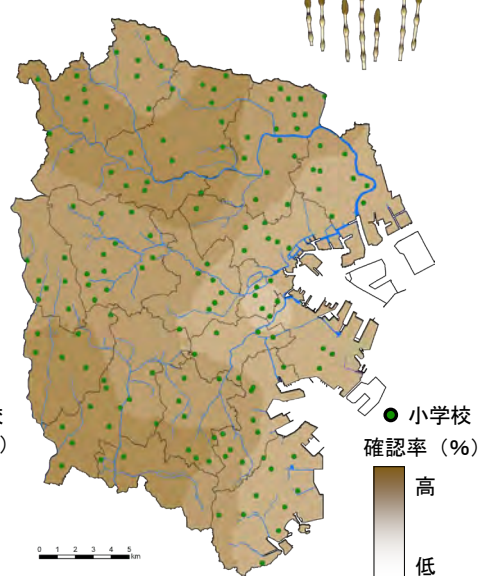
ノコギリクワガタ 41%



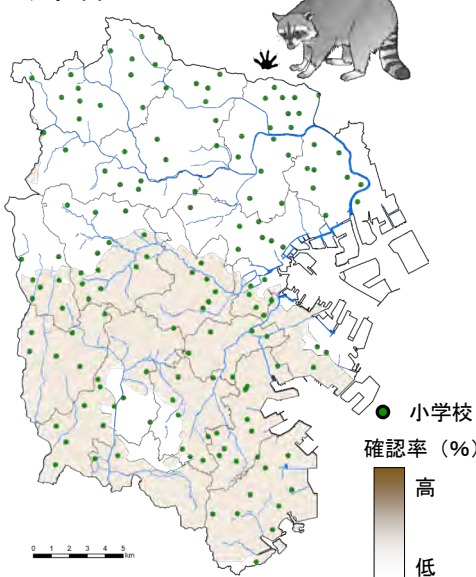
アマガエル 37%



つくし 55%



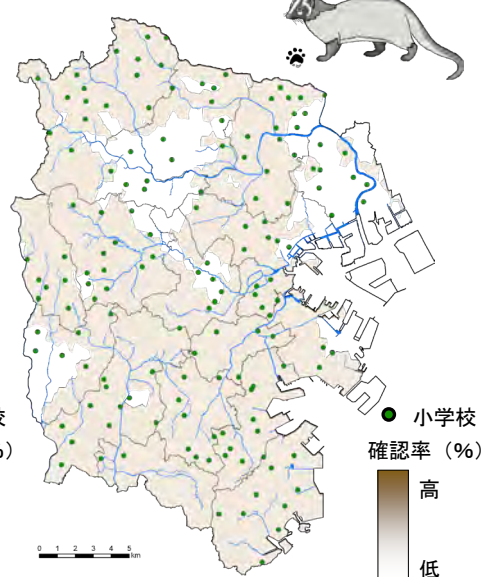
アライグマ 9%



タヌキ 22%



ハクビシン 12%



注)色の濃淡は、小学校ごとの確認率をもとに統計的に計算、作図したものです。一部のふ頭などは解析対象外としました。

教えて！ あなたが見つけた生き物たち 2022



学校名: _____ 小学校 _____ 年 組 _____

この1年間(去年の9月1日～今年の8月31日)に、**家や学校の近くで**
どんな生き物を発見しましたか？ 見つけたもの全部に○をつけてみよう！

ツバメの巣

今年使われた巣
を見つけた時だけ
教えてね。

秋 冬 春 夏

リス

今、横浜にいるのは
外国からきた
台湾リス。
市内の南側に多い？

秋 冬 春 夏

カワセミ

川や池に
飛びこんで
魚をつかまえるよ。

秋 冬 春 夏

ノギリクワガタ

オスのキバ(大あご)
にはギザギザが
いっぱい。

秋 冬 春 夏

アマガエル

目の後ろは
黒いよ。

3cmくらいの小さな
カエル。体は灰色や
茶色のときもあるよ。

秋 冬 春 夏

つくし

春ごろに日なたに
はえていたかな？
食べられる植物だよ。

秋 冬 春 夏

アライグマ

しっぽは
「しましま」。

手先が器用で
魚もつかまえるよ。
夜に行動することが
多いよ。

秋 冬 春 夏

タヌキ

しっぽに「しましま」はないよ。

横浜にも、
いっぱいいるはず。
夜に行動することが
多いよ。

秋 冬 春 夏

ハクビシン

しっぽは
長め。

果物大好きで、
木のぼりが上手。
夜に行動することが
多いよ。

秋 冬 春 夏

みんなはいくつ見つけたかな？

家や学校がある場所によって、見つかる生き物の種類は、ちがうはず！
まわりのお友だちは、いくつ見つけたかな？
横浜市ならどこにでもいる生き物もっているよ！

横浜市環境行動センター
「エコぼん」

こども「いきいき」生き物調査 2022

教えて！ あなたが見つけた生き物たち

横浜市内には、生き物がたくさん見られる場所と、あまり見られない場所があります。また、同じ場所でも今と昔とでは住んでいる生き物が変わってしまっていることもあります。

そこで、どのような生き物がどのような場所にいるのか、みなさん1人ひとりが「生き物調査員」になって調査して、その結果を教えてください。



◆調査の方法

おもて面の生き物について、みなさんがこの1年間（2021年9月1日～2022年8月31日）に、家や学校の近く（およそ学区内）ですがたを見たり、鳴き声を聞いたりしたものに○をつけて先生に提出してください。

秋：9～11月 冬：12～2月
春：3～5月 夏：6～8月

見つけたら○をつけてね。
飼われているものはのぞくよ。

ツバメの巣

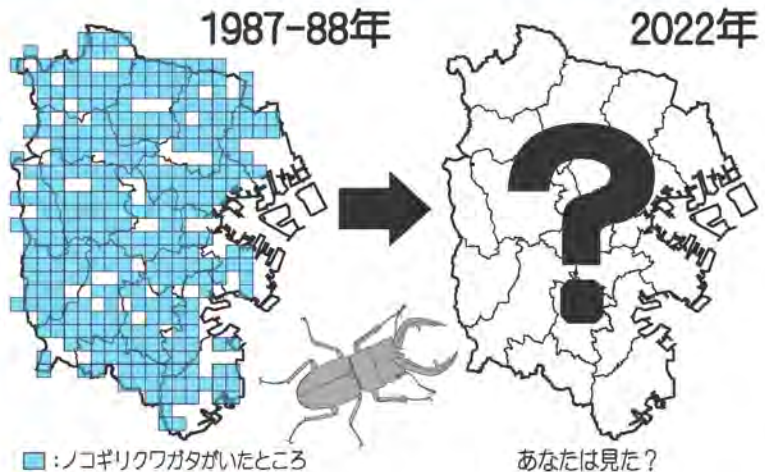
今年使われた巣を見つけた時だけ教えてね。

秋	冬	春	夏
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

◆調べるのは、あなた！

右の地図は、34年前にノコギリクワガタがいたところです。調べたのはその時の小・中学生です。横浜市内の多くのところで、クワガタが見つかりました。今はどうでしょうか？

調べるのは、あなたです！



◆注意してほしいこと

- ※生き物を探るときは勝手に他人の庭や危ないところに入らないようにしましょう。
- ※生き物探しにむちゅうになって、けがをしないように気をつけましょう。

【担当の先生へ】 調査票を夏休み明けに回収し、集計せずに、学校メール便にて環境創造局 環境科学研究所へお送りください。昨年度までの調査結果は、環境科学研究所WEBページでもご覧いただけます。

【問合せ先・発行元】 横浜市環境科学研究所 Tel: 045 (453) 2550 E-mail: ks-kanken@city.yokohama.jp



資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その1)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	リス	カワセミ	ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし	アライグマ	タヌキ	ハクビシン
鶴見	旭	5	1	15	8	1	0	4	4	8	0	4	1
	旭	5	2	9	9	2	2	3	3	3	0	3	0
	旭	5	3	8	5	4	1	4	5	3	3	2	2
	上寺尾	5	1	31	15	4	3	7	3	7	1	2	0
	上寺尾	5	2	34	21	8	6	15	13	17	0	5	3
	上寺尾	5	3	26	15	8	7	12	7	16	2	6	3
	岸谷	5	1	18	13	0	0	8	10	8	0	1	0
	岸谷	5	2	16	14	4	1	7	7	7	0	1	0
	駒岡	5	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0
	駒岡	5	2	19	13	4	3	10	11	10	2	3	0
	駒岡	5	3	7	4	2	1	5	4	3	0	1	0
	獅子ヶ谷	5	1	25	17	5	5	15	10	11	1	2	2
	獅子ヶ谷	5	2	27	15	7	4	15	14	13	2	3	6
	獅子ヶ谷	5	3	32	17	5	7	17	7	12	3	5	4
	下野谷	5	1	31	18	9	5	7	11	11	2	7	4
	下野谷	5	2	28	21	6	3	7	7	12	2	3	4
	末吉	5	1	32	32	7	7	8	11	19	4	11	8
	末吉	5	2	29	29	9	6	12	14	18	1	9	3
	末吉	5	3	24	24	3	6	11	9	13	2	4	6
	鶴見	5	1	23	11	3	4	4	5	9	0	3	0
	鶴見	5	2	20	15	5	4	4	6	7	0	1	0
	鶴見	5	3	26	12	8	2	7	8	13	0	1	1
	鶴見	5	4	28	13	8	2	9	11	13	1	4	0
	豊岡	5	1	22	16	4	3	6	4	6	1	4	0
	豊岡	5	2	25	21	7	6	11	12	10	3	4	4
	豊岡	5	3	19	16	6	3	8	7	13	3	2	2
豊岡	5	4	20	17	4	4	6	11	11	2	4	1	
神奈川	神奈川	5	1	17	6	4	1	4	1	7	0	0	1
	神奈川	5	2	21	11	2	2	4	3	7	0	0	0
	神橋	5	1	28	14	9	8	9	8	12	3	9	6
	神橋	5	2	29	12	5	5	10	8	11	0	2	0
	神橋	5	3	25	16	7	5	15	10	16	4	6	3
	神橋	5	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神橋	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神大寺	5	1	38	11	5	0	9	7	9	0	4	1
	神大寺	5	2	34	18	8	1	13	10	15	2	4	2
	神大寺	5	3	32	19	12	2	14	9	12	2	2	1
	斎藤分	5	1	25	12	8	5	10	15	10	2	7	5
	菅田の丘	5	1	20	16	4	6	11	11	16	2	4	2
	菅田の丘	5	2	22	17	4	5	12	9	19	3	7	2
	菅田の丘	5	3	15	10	5	3	7	6	13	2	7	3
	二谷	5	1	12	9	3	0	4	4	6	0	2	1
	二谷	5	2	26	20	6	2	6	8	11	1	1	2
	三ツ沢	5	1	32	28	16	3	24	17	18	6	8	9
	三ツ沢	5	2	25	22	11	0	11	9	15	1	5	3
	三ツ沢	5	3	32	29	17	3	12	12	20	3	11	6
三ツ沢	5	4	28	27	9	4	14	10	15	4	12	7	
西	東	5	1	22	11	17	5	12	8	9	7	7	7
	東	5	2	17	4	11	2	4	4	2	2	2	2
	一本松	5	1	22	11	14	0	3	5	3	2	5	4
	一本松	5	2	21	4	11	0	2	2	3	1	4	1
	西前	5	1	19	14	12	1	5	5	6	2	3	2
	西前	5	2	22	16	5	3	12	8	8	1	2	2
	平沼	5	1	30	15	10	5	3	8	9	4	6	3
	平沼	5	2	31	18	13	6	9	9	13	4	6	4
	平沼	5	3	30	14	9	5	5	5	7	0	1	0
	宮谷	5	1	4	4	3	1	2	1	3	0	1	1
	宮谷	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	みなとみらい本町	5	1	20	10	5	3	7	7	9	4	6	5
	みなとみらい本町	5	2	15	7	3	2	6	8	10	2	5	2
	中	大鳥	5	1	25	21	8	6	10	13	15	3	5
大鳥		5	2	24	18	11	4	14	12	13	6	6	3
大鳥		5	3	21	19	4	2	10	8	11	2	1	1
本町		5	1	31	16	16	3	5	9	11	3	5	3
本町		5	2	37	22	24	10	18	17	19	4	11	6
本牧		5	1	32	24	10	6	11	8	15	1	6	4
本牧		5	2	32	19	9	2	10	10	11	2	4	1
間門		5	1	20	17	6	1	7	7	4	3	4	3
間門		5	2	3	3	1	2	1	0	2	1	0	0
間門		5	3	5	4	1	0	3	1	3	0	0	0
南	永田	5	1	27	24	10	4	13	5	11	1	3	3
	永田	5	1	28	18	22	3	7	4	10	7	6	2
	永田	5	2	31	21	27	5	6	10	15	8	12	9
永田	5	3	27	20	22	5	13	8	13	2	13	8	

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その 2)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	リス	カワセミ	ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし	アライグマ	タヌキ	ハクビシン	
南	中村	5	1	25	22	17	7	8	11	13	5	9	3	
	中村	5	2	23	18	17	6	9	7	14	2	7	3	
	日枝	5	1	30	25	19	4	16	15	13	5	3	5	
	日枝	5	2	31	17	12	5	5	5	6	0	3	3	
	日枝	5	3	28	21	11	6	11	7	9	2	3	3	
	藤の木	5	1	23	17	17	4	5	9	14	3	5	1	
	藤の木	5	3	9	8	8	4	7	4	7	4	4	1	
	六つ川西	5	1	26	19	21	7	16	14	17	8	11	5	
	六つ川西	5	2	25	16	18	2	12	5	13	2	4	2	
港南	港南台第一	5	1	31	21	28	5	11	8	23	2	4	2	
	港南台第一	5	2	32	23	29	12	13	11	21	5	6	5	
	港南台第二	5	3	28	22	28	5	8	13	14	1	6	2	
	港南台第二	5	1	21	12	21	6	7	14	15	4	9	3	
	港南台第二	5	2	14	11	14	3	5	5	7	0	2	0	
	小坪	5	1	18	14	16	4	7	7	14	1	7	4	
	小坪	5	2	20	16	16	3	8	5	12	3	5	1	
	桜岡	5	1	25	15	13	6	8	4	8	1	6	4	
	桜岡	5	2	23	15	14	4	5	6	13	1	2	4	
	桜岡	5	3	25	19	14	10	7	8	16	2	6	4	
	下野庭	5	1	25	14	23	6	9	9	12	3	4	5	
	下野庭	5	2	22	11	21	4	13	9	11	4	7	5	
	下野庭	5	3	28	17	25	12	15	10	15	2	6	2	
	芹が谷南	5	1	22	15	12	4	9	6	8	2	2	3	
	芹が谷南	5	2	23	16	10	9	9	8	5	2	7	3	
	日限山	5	1	3	3	3	3	2	3	3	1	1	1	
	丸山台	5	1	31	21	21	6	11	14	17	2	7	7	
	丸山台	5	2	27	18	15	3	8	8	17	1	4	0	
	保土ヶ谷	岩崎	5	1	20	15	15	4	7	6	11	4	5	1
		岩崎	5	2	15	12	9	3	5	6	9	3	5	4
坂本		5	1	32	21	20	11	12	7	18	8	10	4	
坂本		5	2	28	19	16	7	14	10	18	4	13	5	
坂本		5	3	30	23	17	4	9	6	16	1	10	0	
桜台		5	1	25	19	24	2	19	6	18	0	3	0	
桜台		5	2	24	16	22	3	12	9	15	7	6	1	
桜台		5	3	22	16	18	3	10	9	10	4	5	2	
常盤台		5	1	23	17	12	4	13	11	11	5	6	4	
常盤台		5	2	22	15	12	4	14	5	10	2	4	0	
常盤台		5	3	11	9	8	1	2	3	4	1	2	0	
星川		5	1	31	20	27	8	11	7	16	1	3	3	
星川		5	2	28	18	26	6	14	6	12	1	3	3	
保土ヶ谷		5	1	4	4	4	2	2	2	3	2	0	0	
保土ヶ谷		5	2	17	15	9	2	5	5	3	0	3	2	
旭		今宿南	5	1	27	24	12	7	16	5	13	3	4	4
		今宿南	5	2	25	20	9	10	15	7	9	0	3	0
	上川井	5	1	16	11	2	2	8	6	6	1	4	3	
	上川井	5	4	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	
	上白根	5	1	24	19	7	8	14	10	9	2	8	1	
	上白根	5	2	24	22	12	9	12	6	14	1	9	3	
	川井	5	1	28	26	7	8	15	15	15	8	17	3	
	川井	5	2	25	17	2	6	10	13	17	4	9	2	
	希望ヶ丘	5	1	23	17	3	2	6	9	7	2	3	0	
	希望ヶ丘	5	2	25	15	3	2	9	8	12	1	2	0	
	希望ヶ丘	5	3	25	13	6	2	7	7	9	1	4	2	
	さちが丘	5	1	31	27	21	7	17	14	22	0	5	1	
	さちが丘	5	2	31	24	21	8	13	8	24	3	5	1	
	さちが丘	5	3	28	22	16	6	15	11	18	4	4	1	
	善部	5	1	36	28	11	6	7	7	16	4	2	3	
	善部	5	2	36	25	9	3	20	9	21	8	11	8	
	鶴ヶ峯	5	1	6	6	2	1	2	2	5	1	1	0	
	鶴ヶ峯	5	3	14	8	2	5	8	4	8	2	7	2	
	中尾	5	1	26	14	9	5	10	9	11	3	6	8	
	中尾	5	2	24	14	5	0	8	9	7	2	2	5	
	中沢	5	1	25	19	6	7	19	11	17	3	5	4	
	中沢	5	2	26	16	7	5	16	10	13	1	4	2	
	中沢	5	3	29	18	4	5	23	10	18	2	6	9	
	中沢	5	5	2	1	0	0	1	0	0	1	0	1	
	東希望が丘	5	1	25	18	5	4	9	8	15	0	2	3	
	東希望が丘	5	2	29	17	4	0	9	4	17	1	4	1	
	東希望が丘	5	3	29	25	5	3	14	11	19	4	3	2	
	不動丸	5	1	28	20	4	11	7	7	15	2	5	3	
	不動丸	5	2	31	25	5	10	9	6	18	1	5	3	
	不動丸	5	3	27	22	1	11	7	5	12	0	2	2	
本宿	5	1	34	25	13	5	12	6	12	7	8	6		
本宿	5	2	28	20	13	10	9	10	17	2	9	3		
本宿	5	3	32	16	12	3	14	10	12	3	7	3		

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その 3)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	リス	カワセミ	ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし	アライグマ	タヌキ	ハクビシン
磯子	さわの里	5	2	11	7	10	3	3	2	4	1	2	1
	山王台	5	1	22	9	21	2	9	7	9	10	6	5
	山王台	5	2	26	13	16	5	12	9	16	6	7	3
	杉田	5	1	24	18	17	4	12	9	13	2	3	2
	杉田	5	2	26	22	19	2	11	10	14	0	2	3
	杉田	5	3	27	19	17	3	12	12	8	2	3	1
	根岸	5	1	25	17	8	5	6	10	8	0	4	3
	根岸	5	2	26	21	6	1	5	5	5	1	2	2
	浜	5	1	26	18	24	1	7	9	18	3	7	2
	浜	5	2	28	16	25	4	9	8	15	5	7	5
	浜	5	3	33	25	24	5	21	10	21	8	10	5
	屏風浦	5	1	26	24	17	2	11	8	14	6	7	5
	屏風浦	5	2	29	27	18	2	6	5	19	4	3	1
	屏風浦	5	3	31	23	16	4	9	9	9	5	5	3
	洋光台第一	5	1	28	26	27	8	17	13	19	7	8	9
	洋光台第二	5	2	25	23	24	9	10	11	15	6	8	7
	洋光台第二	5	1	38	10	28	4	9	5	15	4	10	7
	洋光台第二	5	2	37	16	29	3	13	6	21	1	8	2
	洋光台第三	5	1	23	20	21	1	8	7	19	2	3	3
	洋光台第三	5	2	25	15	25	3	11	10	21	1	5	3
洋光台第四	5	1	22	12	20	5	6	7	10	5	8	3	
洋光台第四	5	2	21	14	21	2	2	6	12	2	5	3	
金沢	金沢	5	1	34	28	22	4	9	12	13	3	6	1
	金沢	5	2	35	22	25	5	11	12	17	3	3	4
	釜利谷	5	1	23	16	17	6	13	5	15	3	7	2
	釜利谷	5	2	23	17	19	5	8	6	14	3	5	6
	小田	5	1	30	28	25	6	13	12	16	3	7	7
	小田	5	2	29	28	24	4	16	14	15	1	4	3
	小田	5	3	28	27	24	3	11	10	14	2	6	3
	瀬ヶ崎	5	1	29	22	24	5	16	7	16	2	5	6
	瀬ヶ崎	5	2	30	21	23	5	9	6	8	0	5	0
	富岡	5	1	30	28	27	3	11	8	18	2	9	3
	富岡	5	2	30	30	27	6	6	8	16	7	11	6
	富岡	5	3	28	22	27	3	8	6	14	3	7	1
	並木第一	5	1	29	20	22	4	12	11	5	1	6	3
	並木第二	5	2	31	23	23	7	11	16	17	5	8	5
	並木第四	5	1	19	17	18	3	4	4	12	2	4	2
	並木第四	5	2	19	19	18	9	9	11	9	8	11	6
	西柴	5	1	24	20	23	10	7	8	15	5	5	6
	西柴	5	2	23	17	20	6	10	12	13	2	3	4
	西柴	5	3	28	26	22	5	9	6	11	3	4	5
	能見台南	5	1	24	16	21	7	12	8	10	2	6	1
能見台南	5	2	23	11	21	1	7	1	6	0	3	2	
能見台南	5	3	11	7	8	2	5	5	1	2	2	0	
西金沢義務教育学校	5	1	27	21	25	8	17	13	16	5	9	11	
西金沢義務教育学校	5	2	24	14	21	6	13	14	14	2	5	3	
西金沢義務教育学校	5	3	25	19	20	5	15	10	7	3	4	7	
港北	大曽根	5	1	29	19	10	3	8	8	13	0	6	3
	大曽根	5	2	20	19	9	2	7	8	15	3	5	2
	大曽根	5	3	28	20	12	2	12	9	18	1	5	5
	大曽根	5	4	26	21	9	9	12	12	14	1	5	5
	北綱島	5	1	4	3	0	2	2	2	3	0	1	0
	北綱島	5	2	3	1	1	1	1	1	2	1	0	0
	港北	5	1	29	17	11	4	13	13	14	3	6	3
	港北	5	2	28	17	7	5	11	10	19	1	8	4
	港北	5	3	30	20	12	6	16	13	20	4	7	6
	港北	5	4	26	13	10	8	9	11	13	1	6	3
	駒林	5	1	23	19	7	4	8	11	17	2	5	2
	駒林	5	2	25	20	7	7	11	9	19	2	7	10
	駒林	5	3	23	17	5	3	10	11	11	2	7	8
	篠原西	5	1	34	21	10	6	13	11	13	1	6	5
	篠原西	5	2	25	18	10	6	12	8	13	2	6	3
	篠原西	5	3	34	24	19	10	20	12	19	7	11	10
	下田	5	1	29	21	2	2	12	7	16	4	8	2
	下田	5	2	27	16	3	3	9	2	15	1	5	0
	下田	5	3	29	20	2	3	17	4	15	2	8	2
	高田東	5	1	28	15	2	2	13	15	8	1	5	4
	高田東	5	2	31	24	5	7	11	16	13	2	11	8
	綱島	5	1	29	24	4	2	12	9	17	1	4	1
	綱島	5	2	24	23	4	3	10	14	14	0	5	1
	綱島	5	3	24	18	5	4	7	7	9	2	7	2
	綱島東	5	1	36	30	11	9	13	20	22	8	8	6
	綱島東	5	2	37	33	1	2	4	7	16	3	6	0
綱島東	5	3	35	34	5	5	10	10	22	0	4	2	

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その 4)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	リス	カワセミ	ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし	アライグマ	タヌキ	ハクビシン
港北	新田	5	1	28	22	10	8	15	26	18	6	12	7
	新田	5	2	29	8	2	1	9	6	9	3	4	4
	新田	5	3	32	20	9	7	14	14	17	4	6	6
	新田	5	8	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	新羽	5	1	32	30	9	12	21	13	24	4	4	6
	新羽	5	2	30	24	11	7	15	9	18	1	5	1
	日吉台	5	1	29	27	9	6	16	14	18	7	13	7
	日吉台	5	2	32	29	8	7	18	15	16	7	13	6
	日吉台	5	3	35	27	8	3	12	12	17	3	10	6
	日吉南	5	1	33	26	4	2	12	15	15	1	4	1
	日吉南	5	2	35	26	6	4	19	16	23	2	3	2
	日吉南	5	3	36	27	5	3	13	14	22	2	5	3
	日吉南	5	4	34	27	6	1	14	11	19	0	3	3
	大豆戸	5	1	27	18	4	1	9	6	12	0	4	2
	大豆戸	5	2	24	15	2	3	11	4	12	0	10	1
	大豆戸	5	3	31	20	8	6	10	8	18	3	7	1
	箕輪	5	2	5	5	2	1	4	4	4	0	0	0
	箕輪	5	3	18	15	2	0	9	4	7	0	3	0
	師岡	5	1	35	34	5	2	12	12	24	2	6	4
	師岡	5	2	29	25	5	4	15	13	15	2	7	3
	師岡	5	3	33	30	4	4	9	12	15	2	4	3
	師岡	5	4	33	33	3	5	11	13	20	1	2	3
	師岡	5	5	33	29	5	3	13	7	19	1	5	3
	師岡	5	6	33	31	5	4	13	13	17	2	4	3
	矢上	5	1	23	18	4	16	6	10	12	3	11	5
	矢上	5	2	27	20	3	6	9	10	15	2	15	2
矢上	5	3	30	24	4	4	5	8	16	1	9	0	
緑	いぶき野	5	1	29	19	2	6	10	14	19	1	1	2
	いぶき野	5	2	30	21	3	5	14	14	16	1	5	3
	いぶき野	5	3	31	19	9	10	16	17	19	8	9	5
	いぶき野	5	4	34	23	4	11	9	17	20	3	6	2
	上山	5	1	31	21	5	8	17	10	22	3	7	5
	上山	5	2	31	25	5	5	12	14	20	4	5	0
	上山	5	不明	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	長津田第二	5	1	28	27	4	13	14	14	20	3	3	1
	長津田第二	5	2	30	22	3	13	14	18	15	4	8	2
	長津田第二	5	3	31	28	4	9	11	20	24	4	8	4
	中山	5	1	30	16	4	10	5	8	20	2	4	1
	中山	5	2	27	23	6	19	7	15	20	4	9	3
	中山	5	3	27	17	2	12	11	8	20	2	6	2
	東本郷	5	1	6	5	0	0	2	2	5	0	1	1
	東本郷	5	2	31	25	4	4	15	16	25	1	4	1
	東本郷	5	3	30	25	6	5	12	17	23	2	5	4
	緑	5	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	三保	5	1	33	25	6	10	17	24	20	5	7	5
	三保	5	2	34	24	6	12	12	20	25	5	11	3
	三保	5	3	36	20	2	6	10	20	26	1	8	3
	三保	5	4	34	24	1	12	13	22	23	3	8	5
	森の台	5	1	33	25	0	19	10	12	21	2	3	1
	森の台	5	2	34	26	4	20	17	11	23	3	8	5
	森の台	5	3	35	29	9	20	17	19	25	3	6	4
	山下	5	1	30	20	3	5	10	22	20	1	10	0
	山下	5	2	36	24	3	10	14	16	27	2	8	3
霧が丘義務教育学校	5	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
青葉	青葉台	5	1	30	19	4	8	12	16	21	4	10	4
	青葉台	5	2	27	21	4	8	8	10	16	0	4	2
	青葉台	5	3	19	13	3	4	5	6	8	1	3	1
	青葉台	5	4	21	17	1	2	7	10	15	2	4	3
	あざみ野第一	5	1	17	13	3	0	6	5	9	1	7	5
	あざみ野第一	5	2	7	5	0	0	2	4	5	0	2	1
	あざみ野第二	5	3	7	6	2	1	3	2	4	1	2	1
	あざみ野第二	5	1	36	23	6	9	17	15	19	4	13	6
	あざみ野第二	5	2	22	15	7	6	8	14	12	2	12	4
	美しが丘東	5	1	33	22	10	12	15	18	21	5	7	6
	美しが丘東	5	2	37	21	7	7	11	14	22	5	8	2
	荏田西	5	1	26	22	4	2	9	6	11	2	9	5
	荏田西	5	2	27	23	3	4	11	8	14	0	5	1
	荏田西	5	3	27	23	0	1	7	9	11	0	1	2
	荏田西	5	4	26	25	4	3	13	10	16	1	5	3
	榎が丘	5	1	25	21	1	3	8	9	17	1	4	3
	榎が丘	5	2	29	26	8	10	10	15	21	0	5	5
	榎が丘	5	3	23	17	3	2	11	11	17	1	6	2
	恩田	5	1	30	22	5	8	14	11	18	4	12	4
	恩田	5	2	28	25	5	4	13	23	18	3	7	3

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その 5)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	リス	カワセミ	ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし	アライグマ	タヌキ	ハクビシン
青葉	鴨志田第一	5	1	18	15	2	2	10	8	12	0	6	1
	鴨志田第一	5	2	20	14	7	0	14	6	11	1	8	1
	鴨志田緑	5	1	29	27	6	7	14	26	23	6	15	10
	鴨志田緑	5	2	29	26	3	1	5	15	13	2	9	1
	嶮山	5	1	31	19	4	12	8	11	20	2	19	8
	嶮山	5	2	32	16	2	7	4	8	14	2	16	2
	さつきが丘	5	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0
	さつきが丘	5	3	6	4	1	1	2	3	5	0	0	2
	奈良	5	1	25	25	5	9	14	15	19	3	11	5
	奈良	5	2	27	27	2	4	7	15	21	5	8	3
	奈良	5	3	29	29	3	9	11	16	21	2	15	8
	もえぎ野	5	1	25	17	6	7	14	10	20	2	11	4
	もえぎ野	5	2	28	16	3	12	10	13	18	3	12	2
	もえぎ野	5	3	22	15	3	6	10	13	13	2	8	3
	元石川	5	1	6	3	0	2	2	1	3	1	4	0
	元石川	5	2	19	7	3	1	9	3	5	0	6	1
	山内	5	1	31	19	4	5	8	5	15	3	4	1
	山内	5	2	31	21	10	20	12	13	16	4	11	7
	山内	5	3	29	18	7	12	12	7	14	6	9	6
	山内	5	4	31	16	3	6	7	3	11	4	6	8
都筑	牛久保	5	1	26	12	6	25	15	16	18	1	4	2
	牛久保	5	2	25	16	6	6	13	12	17	0	3	1
	牛久保	5	3	28	13	3	7	12	5	12	0	2	1
	荏田	5	1	17	16	2	4	7	10	9	3	4	3
	荏田	5	2	15	11	3	4	7	10	7	1	3	2
	折本	5	1	35	29	4	7	19	21	27	2	5	2
	折本	5	2	32	25	7	5	22	19	21	0	6	4
	折本	5	3	29	21	2	5	17	12	17	1	6	2
	勝田	5	1	25	14	7	9	16	12	18	3	5	1
	勝田	5	2	25	17	3	7	13	8	17	0	5	0
	勝田	5	3	27	16	4	3	15	16	16	0	4	2
	勝田	5	4	24	11	2	5	13	10	13	0	6	1
	川和東	5	1	27	10	3	3	16	13	18	0	3	0
	川和東	5	2	25	20	3	5	12	7	15	1	6	1
	川和東	5	3	26	13	2	3	14	10	18	1	4	1
	川和東	5	4	31	16	5	5	12	10	16	2	5	2
	川和東	5	5	27	15	6	5	13	15	22	4	5	5
	都田西	5	1	33	26	4	6	15	6	23	2	6	3
	都田西	5	2	27	23	3	6	10	10	16	1	7	6
	都田西	5	3	29	18	3	3	12	9	16	0	2	0
	都田西	5	4	32	27	5	5	15	8	17	5	11	5
	都田西	5	5	31	24	8	5	21	9	17	2	9	2
	中川	5	1	3	2	0	2	2	0	3	0	0	0
	中川	5	2	15	6	3	9	8	11	11	3	2	3
	東山田	5	1	30	24	6	15	18	17	27	3	11	6
	東山田	5	2	31	22	3	14	13	12	22	3	5	5
	東山田	5	3	29	23	4	11	16	9	22	3	3	5
	南山田	5	1	36	12	9	10	11	15	25	1	3	1
南山田	5	2	29	20	6	9	17	11	18	2	8	2	
戸塚	柏尾	5	1	25	13	20	9	10	8	12	4	8	4
	柏尾	5	2	29	12	28	9	9	8	13	1	10	3
	柏尾	5	3	26	12	26	9	12	6	15	2	9	4
	汲沢	5	1	40	26	28	11	15	16	20	8	12	6
	汲沢	5	2	39	23	34	10	14	14	29	3	6	6
	汲沢	5	4	3	1	1	0	3	0	1	0	0	0
	小雀	5	1	2	2	2	0	1	1	2	0	1	0
	小雀	5	2	4	3	4	2	3	2	3	1	2	1
	境木	5	1	22	8	12	2	9	8	5	2	5	1
	境木	5	2	26	17	16	5	17	10	14	0	5	3
	境木	5	3	28	16	21	3	12	13	14	3	5	3
	大正	5	1	31	27	25	8	21	14	21	4	5	4
	大正	5	2	29	23	25	9	20	12	20	6	9	4
	大正	5	4	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0
	戸塚	5	1	33	28	16	8	12	10	22	5	6	5
	戸塚	5	2	30	27	24	10	14	9	17	2	9	4
	戸塚	5	3	32	26	24	7	13	11	20	0	4	1
	戸塚	5	4	29	27	19	12	10	10	18	3	5	5
	鳥が丘	5	1	26	15	19	6	17	12	16	2	11	2
	鳥が丘	5	2	25	15	20	5	10	9	14	1	4	2
	鳥が丘	5	3	25	12	21	10	13	11	17	4	7	4
	東戸塚	5	1	31	15	28	6	5	5	21	3	1	0
	東戸塚	5	2	28	18	22	6	7	10	7	0	2	1
	東戸塚	5	3	27	17	23	7	6	5	8	0	2	0
東戸塚	5	4	27	16	25	1	10	12	15	3	1	0	

資料 12 学校・クラス別生き物確認数 (その6)

区名	小学校名	学年	組	回答数	ツバメの巣	リス	カワセミ	ノコギリクワガタ	アマガエル	つくし	アライグマ	タヌキ	ハクビシン	
戸塚	東俣野	5	1	30	18	24	8	17	20	21	2	15	1	
	東俣野	5	2	27	15	22	13	19	16	22	6	10	6	
	横浜深谷台	4	1	23	11	13	7	11	10	15	2	11	2	
	横浜深谷台	4	2	22	13	19	8	16	16	16	4	10	4	
	横浜深谷台	5	1	18	8	12	7	9	9	11	1	5	2	
	横浜深谷台	5	2	21	8	13	2	8	8	13	2	7	2	
	南戸塚	5	1	31	15	30	1	11	5	16	1	8	3	
	南戸塚	5	2	29	16	24	6	14	9	13	3	4	6	
	南舞岡	5	1	32	20	30	9	7	28	24	3	9	3	
	矢部	5	1	19	15	15	10	7	15	3	7	5	5	
	矢部	5	2	6	5	4	4	4	2	3	0	1	1	
	矢部	5	3	2	1	2	0	1	0	2	0	0	0	
	栄	飯島	5	1	29	23	28	9	12	13	21	1	4	0
		飯島	5	2	27	21	23	8	8	7	18	2	9	1
飯島		5	3	23	12	16	6	5	10	15	3	4	3	
小菅ヶ谷		5	3	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	
庄戸		5	1	2	2	2	1	0	1	1	0	1	0	
千秀		5	1	21	15	20	10	11	17	15	0	4	3	
千秀		5	2	20	12	17	10	14	16	17	5	12	8	
泉		飯田北いちょう	5	1	28	17	16	7	18	15	17	5	9	2
		和泉	5	1	20	10	5	3	11	7	10	2	3	0
	和泉	5	2	21	12	6	4	10	3	14	0	2	1	
	上飯田	5	1	37	35	18	6	18	21	22	6	6	2	
	上飯田	5	2	38	32	22	6	20	22	23	9	4	0	
	新橋	5	1	37	21	17	7	15	13	22	3	6	4	
	新橋	5	2	34	26	20	8	17	20	27	5	7	5	
	新橋	5	3	33	23	22	16	16	17	26	3	9	3	
	東中田	5	1	25	7	14	0	11	6	17	4	5	4	
	東中田	5	2	21	14	8	2	7	9	11	3	4	3	
	東中田	5	3	23	13	15	5	12	6	16	1	6	1	
	緑園義務教育学校	5	1	30	22	26	14	13	17	16	6	13	6	
	緑園義務教育学校	5	2	34	21	21	9	15	12	23	6	5	6	
	緑園義務教育学校	5	3	34	22	23	8	17	7	15	5	13	4	
緑園義務教育学校	5	4	29	17	24	13	14	7	19	9	18	9		
瀬谷	瀬谷さくら	5	1	28	20	9	14	11	15	24	4	7	7	
	瀬谷さくら	5	2	23	21	7	17	15	12	16	3	4	5	
	瀬谷第二	5	1	26	18	6	7	16	10	17	3	3	4	
	瀬谷第二	5	2	31	20	15	10	16	16	20	5	7	2	
	瀬谷第二	5	3	19	8	2	4	9	9	13	0	1	2	
	大門	5	1	28	23	8	8	15	11	13	4	5	5	
	大門	5	2	32	23	3	8	15	13	19	1	1	1	
	大門	5	3	32	15	6	5	12	8	9	3	6	1	
	原	5	1	21	18	8	5	11	5	12	1	3	2	
	原	5	2	20	19	9	9	12	6	12	2	3	4	
	原	5	3	15	12	6	3	9	6	9	1	1	3	
	原	5	4	18	15	6	3	7	4	11	1	1	3	
	原	5	5	13	11	7	4	9	5	7	1	3	2	
	二つ橋	5	1	35	21	16	8	18	14	25	6	10	4	
	二つ橋	5	2	27	18	10	11	16	14	23	4	8	3	
	三ツ境	5	1	25	18	11	13	12	12	19	4	4	4	
	三ツ境	5	2	26	21	8	9	14	7	18	1	5	2	
	三ツ境	5	3	27	20	7	8	17	5	15	1	3	4	
	南瀬谷	5	3	28	4	2	1	3	1	5	0	0	2	
	総計				10,552	7,413	4,373	2,263	4,374	3,954	5,847	1,002	2,329	1,234

資料 13 これまでに調査対象とした生き物

分類	生き物の名前	1984年	1987-88年	1991年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年
植物	カントウタンポポ	○	○	○									
	タンポポのなかま				90								
	つくし					63							55
	ふきのとう						33				30		
	レンゲソウ(ゲンゲ)							52					
	ススキ								72			69	
	ウキクサ	○											
	ドンダリのなる木	○											
	ヤマユリ			○									
哺乳類	モグラ		○	○									
	リス				35			38			42		41
	コウモリ		○	○	46				46			36	
	タヌキ		○	○		18				20			22
	アライグマ					6				8			9
	ハクビシン					8				12			12
	ツバメの巣				77	78	77	75	77	76	73	67	70
鳥類	白サギのなかま		○	○			23				26		
	カモメのなかま						37						
	ハクセキレイ						35						
	カワセミ					22				20			21
	ウグイス(の鳴き声)							81					
	スズメ								94			92	
	ハッカチョウ										8		
爬虫類	ヘビのなかま		○	○	37				37			31	
	トカゲ		○	○									
	カメのなかま								44			35	
両生類	オタマジャクシ	○											
	トウキョウダルマガエル(トノサマガエル)		○	○									
	アマガエル					42				42			37
	ヒキガエル						38				28		
昆虫類	カブトムシ	○			72		70		69		68	56	
	クワガタ	○											
	ノコギリクワガタ		○	○		50		50		52			41
	バッタのなかま				84								
	セミ(の鳴き声)				97								
	ヒグラシ		○	○									
	クマゼミ(の鳴き声)					72							
	カマキリのなかま						80				78		
	ハグロトンボ							38					
	ナナホシテントウ							81					
	アオスジアゲハ								63			64	
	ホタルのなかま	○	○	○					37			27	
	ミンミンゼミ(の鳴き声)									96			
	ヤゴ	○											
	ゲンゴロウ	○											
	ミズカマキリ		○	○									
オニヤンマ		○	○										
スズメバチ(巣も含む)		○	○										
クツムシ		○											
魚類	ヨシノボリ	○	○	○									
	ドジョウ	○	○	○									
	フナ	○	○	○									
	コイ	○											
	アブラハヤ(ハヤ)	○											
	モツゴ(クチボソ)	○											
	メダカ	○											
その他の動物	カワニナ	○	○	○									
	タニシ	○											
	アメリカザリガニ	○			44								
	サワガニ	○	○	○			28				22		
	ダンゴムシ							95					
カタツムリ							69						

※2013年以降の数値は、市全体の確認率(%)